

八戸市 こども・若者アンケート調査

－調査結果報告書－

令和7年9月

八戸市

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び有効回収数（率）	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	調査結果の見方	1
II	調査結果	2
1	自身のことや家族の状況について	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	3
(3)	同居している人	4
(4)	職業	5
(5)	利用したい就労支援	6
2	日頃の意識や生活について	7
(1)	日頃の意識や考えについて	7
(2)	生活の満足度	13
(3)	安心する居場所について	14
(4)	希望の居場所	17
(5)	困った時に助けしてくれると思う人	20
(6)	学校生活と社会貢献について	24
(7)	社会貢献について	25
(8)	自分の将来について明るい希望を持っているか	26
(9)	外出頻度	27
(10)	落ち込んだ経験	28
(11)	落ち込んだ状態から元に戻った経験	29
(12)	落ち込んだ状態から元にもどったきっかけ	30
(13)	社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験	31
(14)	社会生活や日常生活が困難である主な原因	32
(15)	社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善した経験	33
(16)	社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと	33
(17)	悩みや困りごと	35
(18)	落ち込んだ時、相談したい人や場所	38
(19)	誰にも相談したくないと思う理由	40
(20)	家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているか	43
(21)	こども・若者対象の相談支援機関等の認知度	44
(22)	こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況	46
(23)	こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うか	47

	47
3 結婚に対する考え方について	48
(1) 婚姻の状況.....	48
(2) 結婚に対する考え.....	48
(3) 一生結婚するつもりがない理由.....	49
(4) 結婚に対するイメージ.....	49
(5) 結婚につながると思う出会いのシーン.....	50
4 子育てに対する考え方について	52
(1) こどもを持つことについて.....	52
(2) どのような環境を整えればもう1人以上のこどもを持ちたいか.....	52
(3) こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に.....	53
求める支援施策.....	53
5 八戸市やこどもまんなか社会について	55
(1) 八戸市に今後も住み続けたいか.....	55
(2) 八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ.....	57
(3) 遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているか.....	61
(4) 八戸市に愛着や親しみを感じているか.....	62
(5) 自分の意見を聴いてもらえていると思うか.....	63
(6) 市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うか.....	65
(7) こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがある とよいと思うか.....	67
(8) 八戸市のこども・若者に対する支援についてのご意見・ご提案.....	70
Ⅲ 使用した調査票	74
1 こども・若者アンケート調査 10～17 歳の方向け	74
	78
2 こども・若者アンケート調査 18～39 歳の方向け	79

I 調査概要

1 調査の目的

こども・若者の意識に関わる人生観・幸福感、居場所、他者との関わり方、社会参加、将来像、普段の活動・外出状況、困難に直面した経験、相談・支援、結婚・出産・子育て、就労・働き方など、こども・若者の育成支援に関する状況を把握することを目的として実施。

2 調査対象及び有効回収数（率）

対象者	配布数	総回収数		有効回収数		有効回収数（率）	内訳（性別）
10～17 歳	2,500 件	郵送	376	郵送	375	1,010 件 (40.4%)	【男性】 475 件 (47.0%)
		WEB	639	WEB	635		【女性】 511 件 (50.6%)
		計	1,015	計	1,010		
18～39 歳	2,500 件	郵送	187	郵送	185	726 件 (29.0%)	【男性】 290 件 (39.9%)
		WEB	541	WEB	541		【女性】 416 件 (57.3%)
		計	728	計	726		

※内訳（性別）について、記載の【男性】【女性】のほかに【その他】【無回答】も含まれるため、合計と一致しない。

※内訳（性別）の有効回収率は、有効回答数のうち、各性別の構成比を示したものの。

3 調査方法

郵送配布、郵送回収（WEB 回答併用）

4 調査期間

令和7年7月9日（水）～令和7年7月25日（金）まで

※遅れ票として、令和7年8月8日（金）までの回答を集計に含めた

5 調査結果の見方

- ① グラフの「n (number of cases)」はアンケートの有効回収数を示している。
- ② 割合はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が 100.0%にならない場合もある。
- ③ 複数回答の場合、回答の合計割合が 100.0%を超える場合がある。
- ④ 設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤ 調査結果において表記されている« »は、類似した複数の選択肢を合算した場合に使用している。
- ⑥ 10～17 歳と 18～39 歳で同様に設定している設問については、原則として 18～39 歳の設問文・選択肢を採用し、問番号は「18～39 歳 (10～17 歳)」の形式で併記して掲載している。
- ⑦ 本書では、性別および年齢別によるクロス集計結果のうち、選択肢間で概ね 10 ポイント程度以上の差異が確認された項目を抽出し、掲載しています。

Ⅱ 調査結果

1 自身のことや家族の状況について

（１）性別

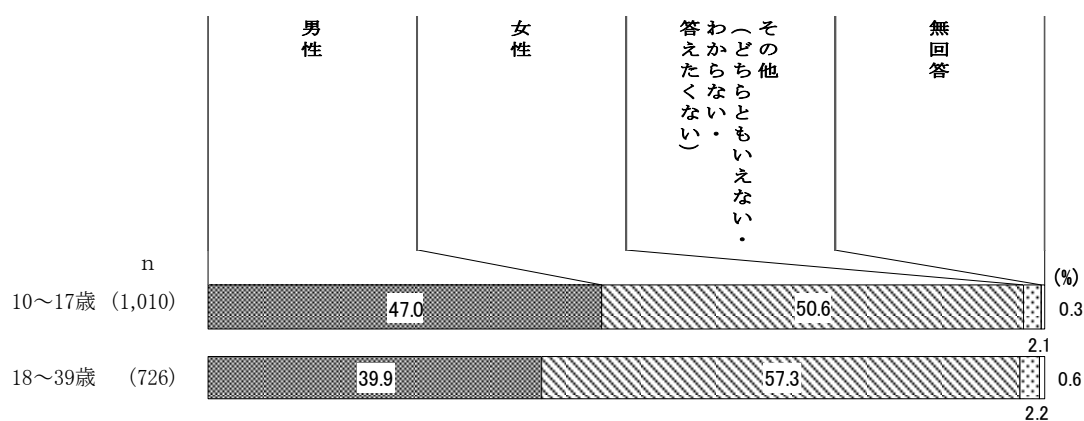
10～17 歳

18～39 歳

- ▶性別について、10～17 歳では、「男性」が 47.0%、「女性」が 50.6%となっている。
- ▶18～39 歳では、「男性」が 39.9%、「女性」が 57.3%となっている。

問 1（問 1）あなたの性別をお答えください。

（○は 1 つ）



（２）年齢

10～17 歳

18～39 歳

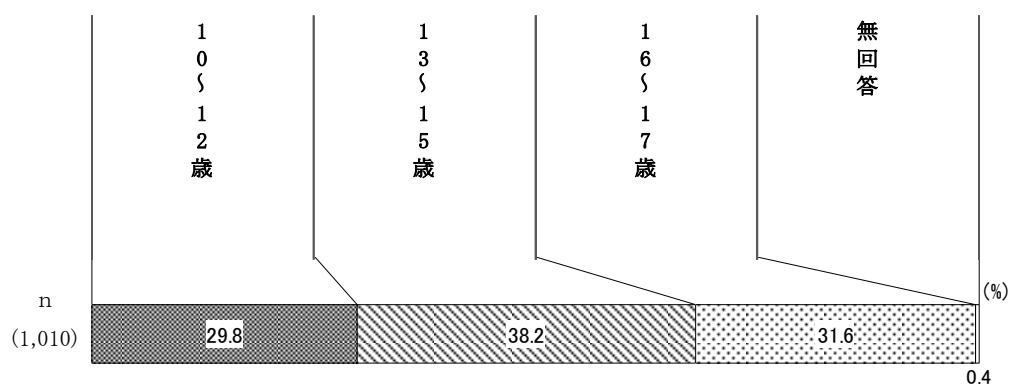
- ▶年齢について、10～17 歳では、「13～15 歳」が 38.2%と最も高く、次いで「16～17 歳」（31.6%）、「10～12 歳」（29.8%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「35～39 歳」が 32.6%と最も高く、次いで「30～34 歳」（25.2%）、「25～29 歳」（20.1%）となっている。

問２（問２）あなたの年齢をお答えください。

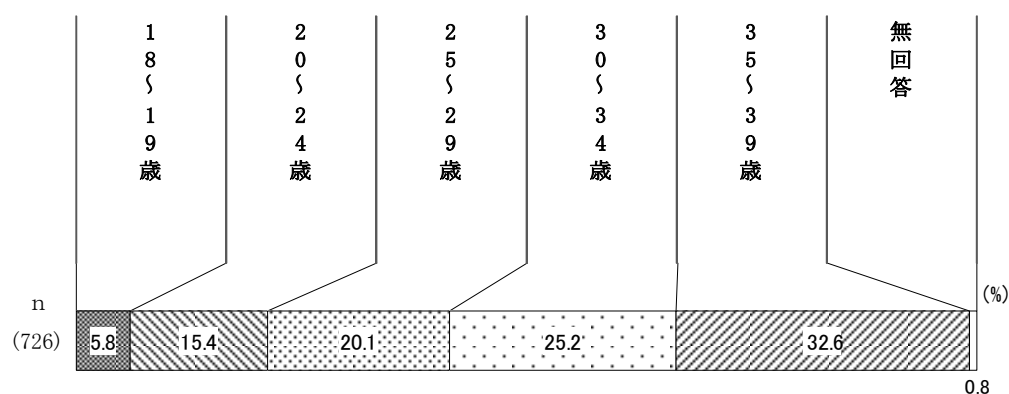
※令和７年４月１日現在の年齢をお答えください。

（数字でご記入ください）

10～17 歳



18～39 歳



（３）同居している人

10～17 歳

18～39 歳

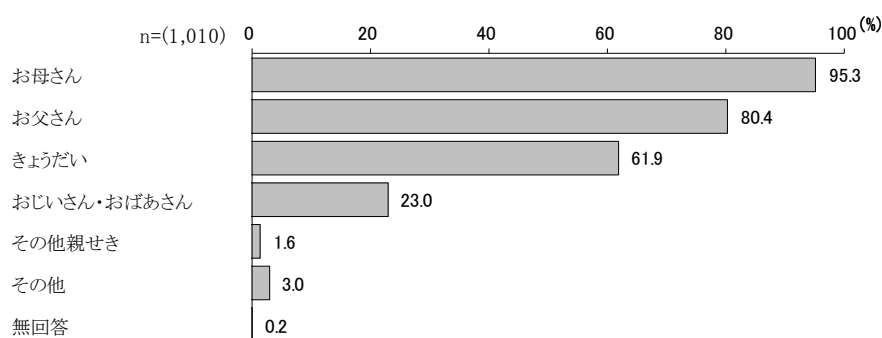
- ▶同居している人について、10～17 歳では、「お母さん」が 95.3%と最も高く、次いで「お父さん」（80.4%）、「きょうだい」（61.9%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「配偶者・パートナー」が 40.1%と最も高く、次いで「母」（39.1%）、「あなたの子」（34.0%）となっている。

問３（問３）現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

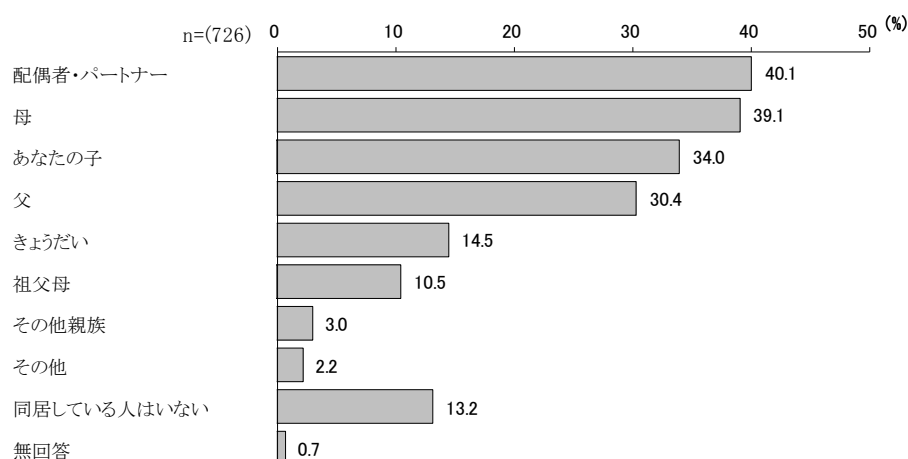
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「その他」をお選びください。

（○はいくつでも）

10～17 歳



18～39 歳



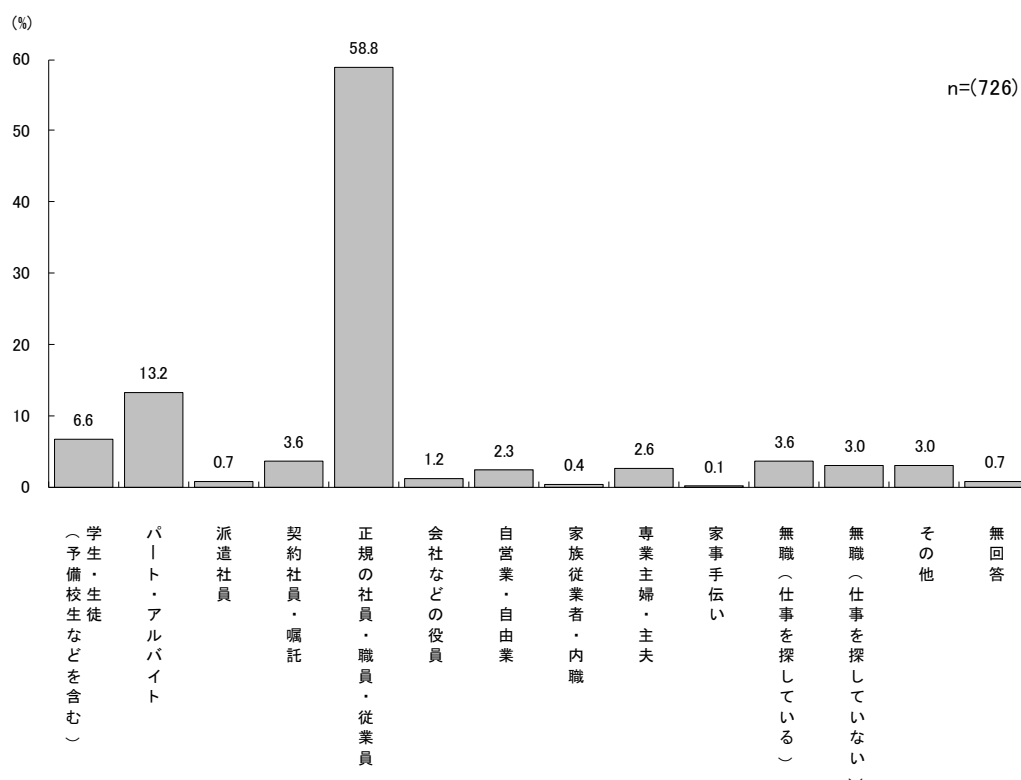
（４）職業

18～39 歳

▶職業について、「正規の社員・職員・従業員」が 58.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（13.2%）」、「学生・生徒（予備校生などを含む）」（6.6%）となっている。

問４ あなたの現在の仕事をお答えください。

（○は１つ）



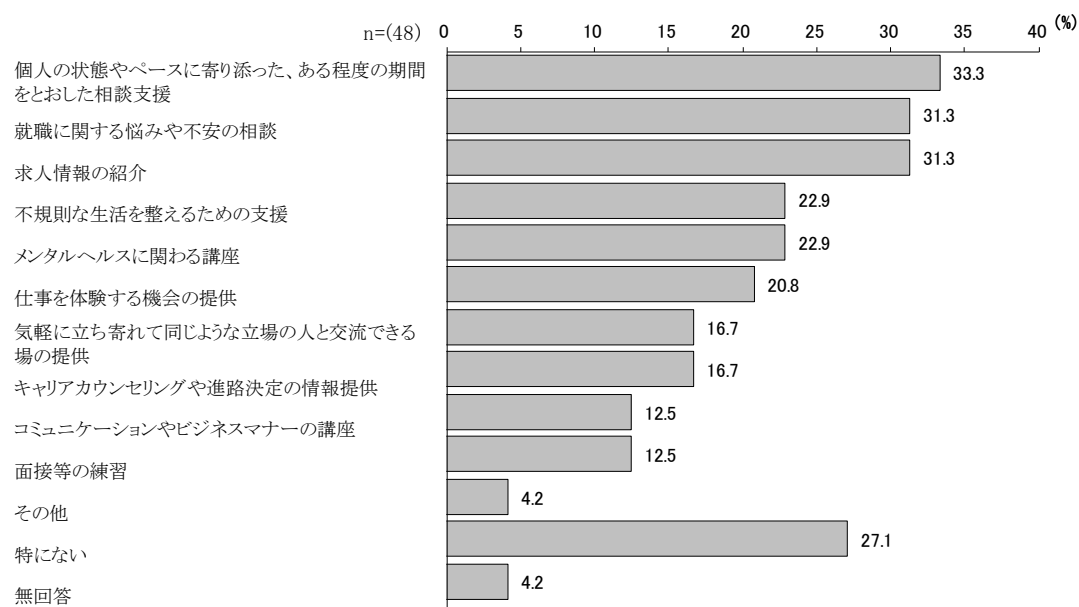
（５）利用したい就労支援

18～39 歳

▶利用したい就労支援について、「個人の状態やペースに寄り添った、ある程度の期間をととした相談」が 33.3%と最も高く、次いで「就職に関する悩みや不安の相談」、「求人情報の紹介」（ともに 31.3%）となっている。

【問４で「無職（仕事を探している）」「無職（仕事を探していない）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問５ 就労することに関して、あなたはどのような支援であれば利用してみたいと思いますか。
(○はいくつでも)



2 日頃の意識や生活について

（１）日頃の意識や考えについて

10～17 歳

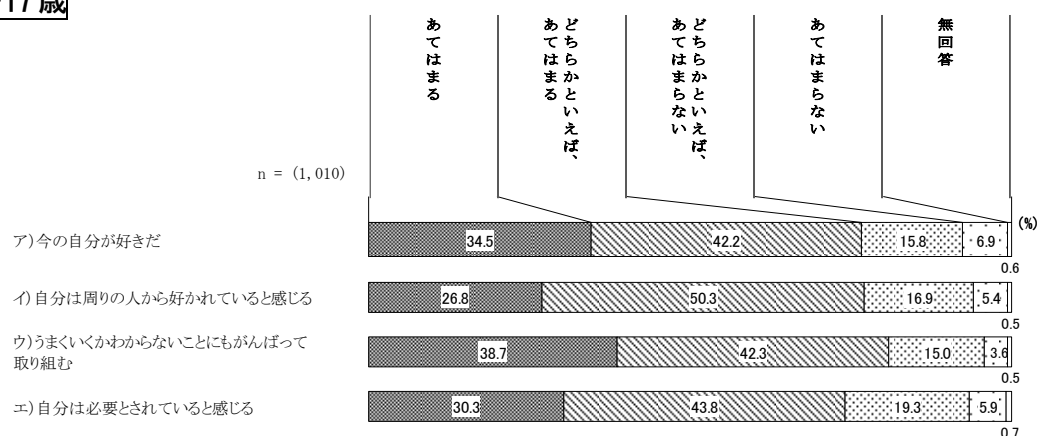
18～39 歳

- ▶ 日頃の意識や考えについて、10～17 歳では、すべての項目で《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）が7割を超えており、特に「ウ）うまくいかわからないことにもがんばって取り組む」は81.0%と最も高くなっている。
- ▶ 18～39 歳では、「ア）自分には自分らしさというものがあると思う」では《あてはまる》が7割を超えており、79.9%と最も高くなっている。一方、「努力すれば希望する職業につくことができる」、「今の自分が好きだ」等の項目では《あてはまる》が6割を下回っている。

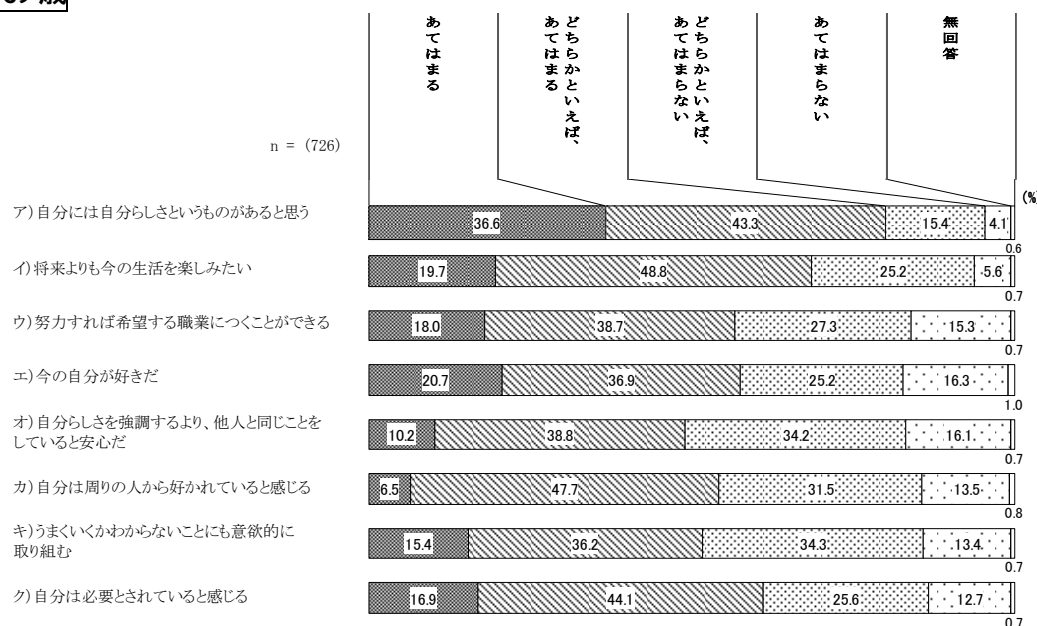
問6（問4）あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

（それぞれ○は1つ）

10～17 歳



18～39 歳



【年代別／日頃の意識や考えについて ア）自分には自分らしさというものがあると思う】

▶“ア）自分には自分らしさというものがあると思う”について、18～39 歳を年代別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 88.1%となっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は年代が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 23.7%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらか といえば、	あてはまる どちらか といえ ば、	あてはま らない	無回 答
18～19歳	42	52.4	35.7	9.5	2.4	-
20～24歳	112	47.3	33.9	12.5	6.3	-
25～29歳	146	40.4	41.8	14.4	3.4	-
30～34歳	183	35.0	47.0	13.1	4.9	-
35～39歳	237	28.7	46.8	20.3	3.4	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／日頃の意識や考えについて イ）将来よりも今の生活を楽しみたい】

▶“イ）将来よりも今の生活を楽しみたい”について、18～39 歳を年代別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 81.0%となっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえ、あてはまらない」）の割合は年代が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“30～34 歳”で 38.3%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらか といえば、	あてはまる どちらか といえ ば、	あてはま らない	無回 答
18～19歳	42	28.6	52.4	14.3	4.8	-
20～24歳	112	22.3	50.0	17.9	9.8	-
25～29歳	146	23.3	52.1	21.2	3.4	-
30～34歳	183	16.9	44.3	31.7	6.6	0.5
35～39歳	237	16.9	50.2	27.8	4.2	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／日頃の意識や考えについて ウ）努力すれば希望する職業につくことができる】

▶“ウ）努力すれば希望する職業につくことができる”について、18～39 歳を年代別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は年代が下がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“20～24 歳”で 69.7%となっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 48.9%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない	無回答
18～19歳	42	42.9	26.2	21.4	9.5	-
20～24歳	112	26.8	42.9	20.5	8.9	0.9
25～29歳	146	18.5	43.8	23.3	14.4	-
30～34歳	183	16.4	35.0	32.2	15.8	0.5
35～39歳	237	11.0	39.7	30.8	18.1	0.4

※着色した数値は、各行の最大値

【性別／日頃の意識や考えについて エ）今の自分が好きだ】

▶“エ）今の自分が好きだ”について、18～39 歳を性別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合が、“男性”では 64.1%、“女性”では 53.6%となっており、“男性”の割合が高くなっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合が、“男性”では 35.2%、“女性”では 45.7%となっており、“女性”の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない	無回答
男性	290	26.9	37.2	22.4	12.8	0.7
女性	416	16.6	37.0	27.4	18.3	0.7
その他	16	12.5	37.5	18.8	31.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／日頃の意識や考えについて エ）今の自分が好きだ】

▶“エ）今の自分が好きだ”について、18～39 歳を年代別でみると、《あてはまらない》（「あてはまらない」＋「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 46.0%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数 (件)	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
18～19歳	42	31.0	31.0	19.0	16.7	2.4
20～24歳	112	28.6	33.0	23.2	15.2	-
25～29歳	146	23.3	38.4	22.6	15.8	-
30～34歳	183	19.7	38.8	26.2	14.8	0.5
35～39歳	237	14.8	38.0	28.3	17.7	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

【性別／日頃の意識や考えについて オ）自分らしさを強調するより、

他人と同じことをしていると安心だ】

▶“オ）自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ”について、18～39 歳を性別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合が、“男性”では 42.7%、“女性”では 54.1%となっており、“女性”の割合が高くなっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合が、“男性”では 56.5%、“女性”では 45.7%となっており、“男性”の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらか といえば、	あてはまる どちらか といえ ば、	あてはま らない	無回 答
男性	290	10.3	32.4	39.3	17.2	0.7
女性	416	10.3	43.8	31.0	14.7	0.2
その他	16	6.3	31.3	31.3	31.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／日頃の意識や考えについて オ）自分らしさを強調するより、

他人と同じことをしていると安心だ】

▶“オ）自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ”について、18～39 歳を年代別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 66.6%となっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は年代が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“30～34 歳”で 53.6%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらか といえば、	あてはまる どちらか といえ ば、	あてはま らない	無回 答
18～19歳	42	21.4	45.2	31.0	2.4	-
20～24歳	112	14.3	35.7	31.3	17.9	0.9
25～29歳	146	9.6	37.0	40.4	13.0	-
30～34歳	183	9.8	36.1	36.1	17.5	0.5
35～39歳	237	6.8	42.2	31.6	19.0	0.4

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／日頃の意識や考えについて カ）自分は周りの人から好かれていると感じる】

▶“カ）自分は周りの人から好かれていると感じる”について、18～39 歳を年代別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合は年代が下がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 66.7%となっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえば、あてはまらない」）の割合は年代が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“20～24 歳”で 50.9%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらか といえば、	あてはまる どちらか といえ ば、	あてはま らない	無回 答
18～19歳	42	14.3	52.4	23.8	9.5	-
20～24歳	112	11.6	37.5	33.0	17.9	-
25～29歳	146	4.8	55.5	27.4	12.3	-
30～34歳	183	3.8	53.6	32.8	9.3	0.5
35～39歳	237	5.5	43.5	34.2	16.0	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

【性別／日頃の意識や考えについて キ）うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む】

▶“キ）うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む”について、18～39 歳を性別でみると、《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）の割合が、“男性”では 59.0%、“女性”では 47.1%となっており、“男性”の割合が高くなっている。一方、《あてはまらない》（「あてはまらない」+「どちらかといえ、あてはまらない」）の割合が、“男性”では 40.6%、“女性”では 52.4%となっており、“女性”の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	あてはまる	あてはまる どちらか といえば、	あてはまる どちらか といえ ば、	あてはま らない	無回 答
男性	290	20.0	39.0	30.3	10.3	0.3
女性	416	12.5	34.6	37.5	14.9	0.5
その他	16	12.5	37.5	31.3	18.8	-

※着色した数値は、各行の最大値

（２）生活の満足度

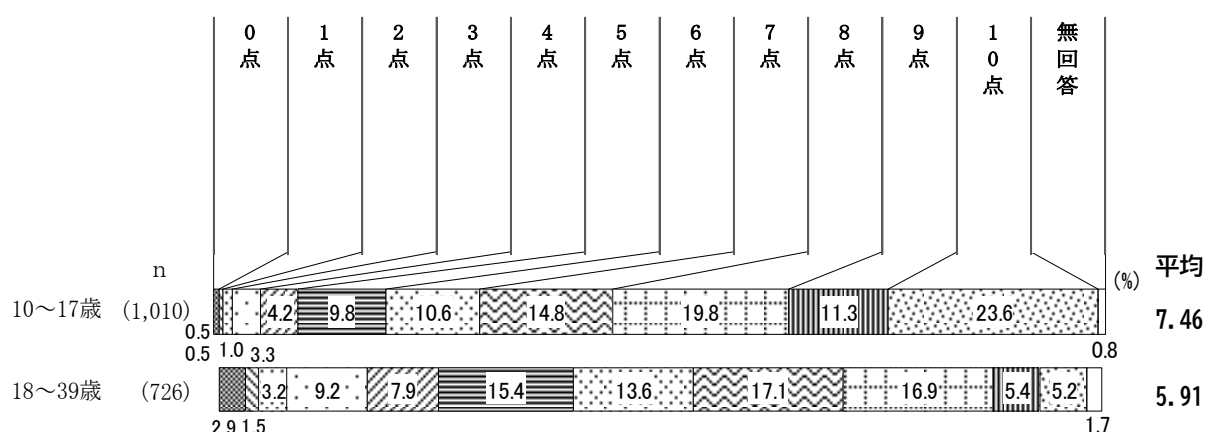
10～17 歳

18～39 歳

- ▶生活の満足度について、10～17 歳では、「10 点」が 23.6%と最も高く、次いで「8 点」（19.8%）、「7 点」（14.8%）となっており、平均は 7.46 点となっている。
- ▶18～39 歳では、「7 点」が 17.1%と最も高く、次いで「8 点」（16.9%）、「5 点」（15.4%）となっており、平均は 5.91 点となっている。

問 7（問 5）あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

（「まったく満足していない」を 0 点、「十分に満足している」を 10 点として、○は 1 つ）



（３）安心する居場所について

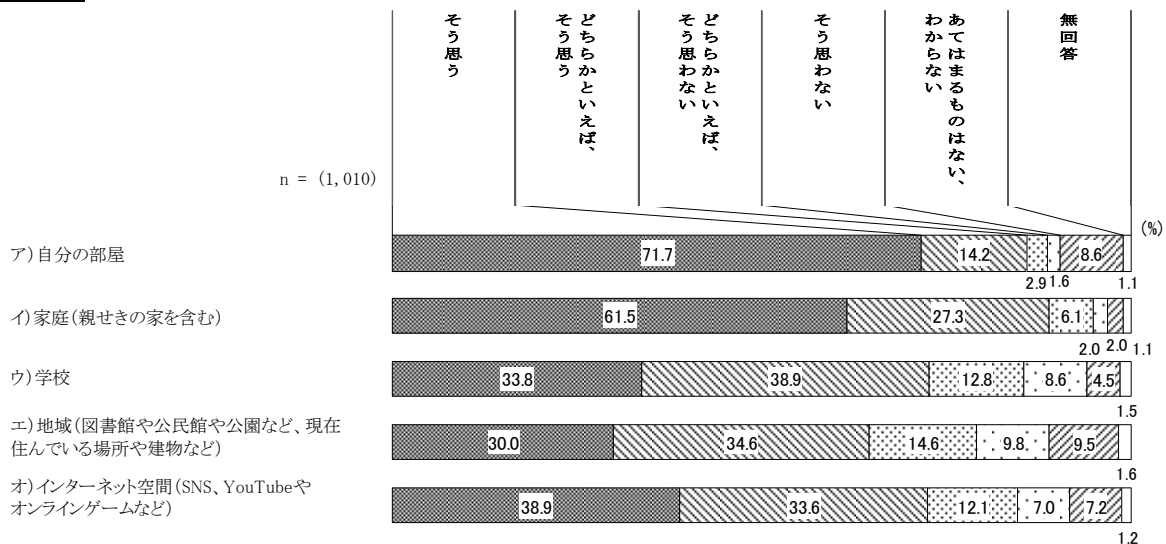
10～17 歳

18～39 歳

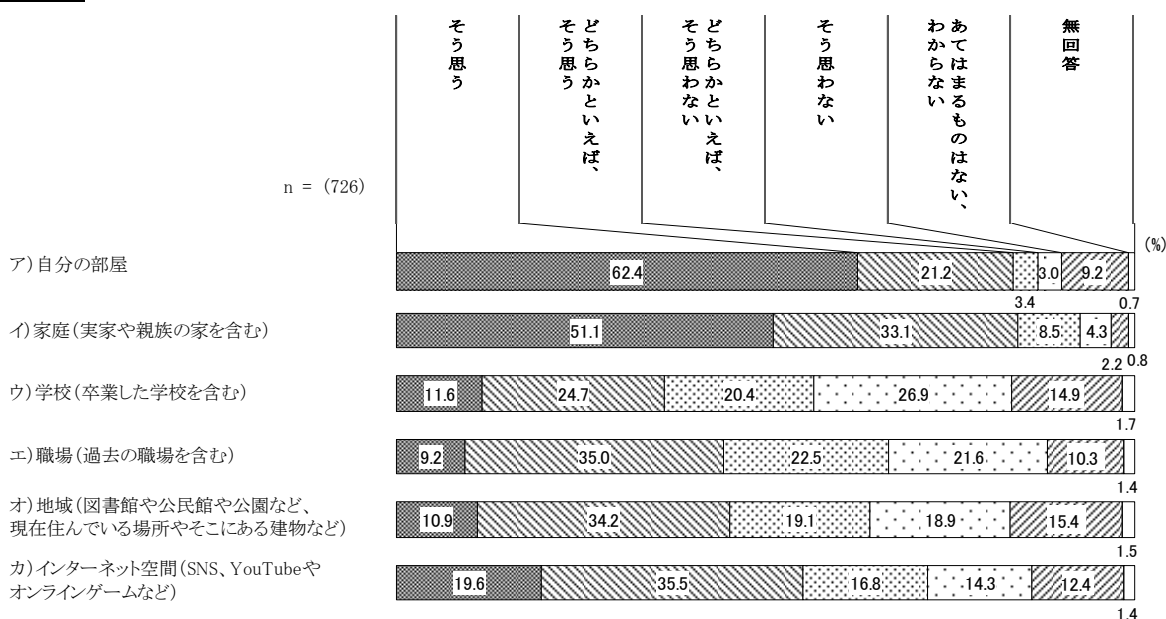
- ▶ 安心する居場所について、10～17 歳では、「ア）自分の部屋」「イ）家庭（親せきの家を含む）」では《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 8 割を超えており、特に「イ）家庭（親せきの家を含む）」が 88.8%と最も高くなっている。一方、「ウ）地域」では、64.6%とほかの項目に比べ低くなっている。
- ▶ 18～39 歳では、「ア）自分の部屋」「イ）家庭（実家や親族の家を含む）」では《そう思う》が 8 割を超えており、特に「イ）家庭（実家や親族の家を含む）」が 84.2%と最も高くなっている。一方、「ウ）学校（卒業した学校を含む）」「エ）職場（過去の職場を含む）」「オ）地域」では 5 割以下と、ほかの項目に比べ低くなっている。

問 8（問 6）次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれ○は 1 つ）

10～17 歳



18～39 歳



【年代別／安心する居場所について エ）地域（図書館や公民館や公園など、
現在住んでいる場所や建物など）】

▶“エ）地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所や建物など）”について、10～17 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“10～12 歳”で 73.1%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で 29.1%となっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう どちら かとい え、	そう どちら わかな いとい え、	そう 思わな い	い、あ てはま るもの はな	無 回 答
10～12歳	301	39.9	33.2	13.3	5.3	6.6	1.7
13～15歳	386	27.2	36.3	15.5	9.1	10.4	1.6
16～17歳	319	24.5	34.2	14.7	14.4	11.0	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／安心する居場所について ア）自分の部屋】

▶“ア）自分の部屋”について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 95.2%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう どちら かとい え、	そう どちら わかな いとい え、	そう 思わな い	い、あ てはま るもの はな	無 回 答
18～19歳	42	76.2	19.0	2.4	2.4	—	—
20～24歳	112	75.9	16.1	1.8	1.8	4.5	—
25～29歳	146	68.5	18.5	1.4	3.4	8.2	—
30～34歳	183	57.9	25.1	4.9	3.3	8.2	0.5
35～39歳	237	54.0	22.8	4.6	3.4	14.8	0.4

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／安心する居場所について カ）インターネット空間

（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）】

▶“カ）インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）”について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは“18～19 歳”で 78.6%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 40.5%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	い、あてはまるものはな	無回答
18～19歳	42	40.5	38.1	2.4	4.8	14.3	-
20～24歳	112	30.4	35.7	15.2	6.3	10.7	1.8
25～29歳	146	20.5	39.7	18.5	12.3	8.2	0.7
30～34歳	183	19.1	35.5	15.8	14.8	13.1	1.6
35～39歳	237	11.0	33.3	19.8	20.7	14.8	0.4

※着色した数値は、各行の最大値

（４）希望の居場所

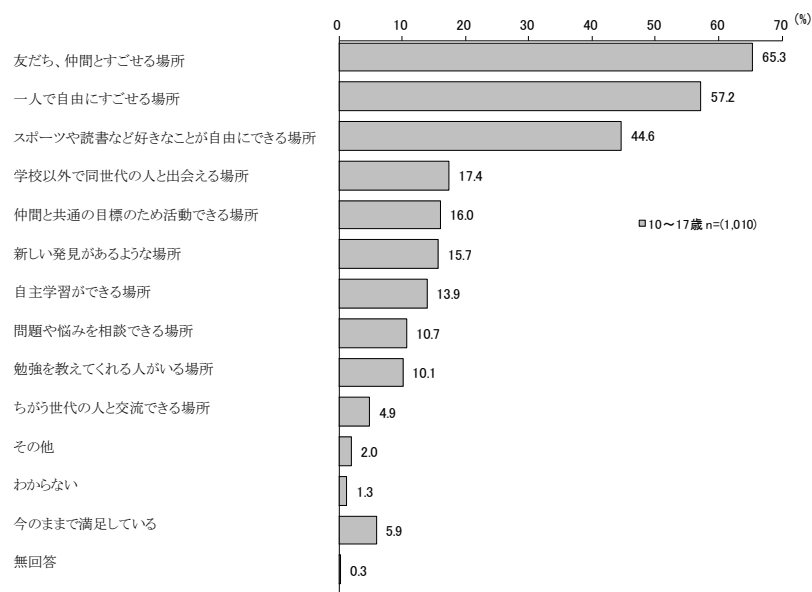
10～17 歳

18～39 歳

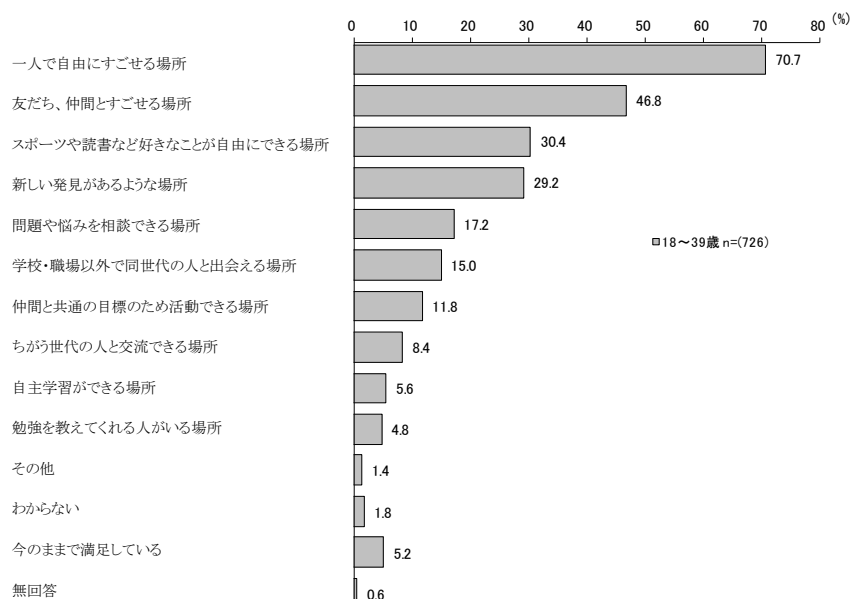
- ▶希望の居場所について、10～17 歳では、「友だち、仲間とすごせる場所」が 65.3%と最も高く、次いで「一人で自由にすごせる場所」（57.2%）、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（44.6%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「一人で自由にすごせる場所」が 70.7%と最も高く、次いで「友だち、仲間とすごせる場所」（46.8%）、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（30.4%）となっている。

問 9（問 7）あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。（〇は3つまで）

10～17 歳



18～39 歳



【性別／希望の居場所】

▶希望の居場所について、10～17 歳を性別でみると、“女性”は“男性”に比べ、「自主学習ができる場所」の割合が高くなっている。一方、“男性”は“女性”に比べ、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	友だち、仲間とすごせる場所	一人で自由にすごせる場所	スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	学校以外で同世代の人と出会う場所	仲間と共通の目標のため活動できる場所	新しい発見があるような場所	自主学習ができる場所	問題や悩みを相談できる場所	勉強を教えてくれる人がいる場所	ちがう世代の人と交流できる場所	その他	わからない	今のままで満足している	無回答
男性	475	68.4	54.7	50.7	16.8	17.5	18.9	8.0	7.4	7.4	4.2	1.9	1.1	6.3	0.4
女性	511	63.6	58.9	39.9	18.4	14.9	12.5	19.6	13.7	12.7	5.3	2.2	1.4	5.5	-
その他	21	47.6	76.2	19.0	9.5	4.8	23.8	9.5	14.3	9.5	9.5	-	4.8	9.5	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／希望の居場所】

▶希望の居場所について、10～17 歳を年代別でみると、“10～15 歳”は「友だち、仲間とすごせる場所」、「16～17 歳」は「一人で自由にすごせる場所」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「一人で自由にすごせる場所」と「自主学習ができる場所」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	友だち、仲間とすごせる場所	一人で自由にすごせる場所	スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	学校以外で同世代の人と出会う場所	仲間と共通の目標のため活動できる場所	新しい発見があるような場所	自主学習ができる場所	問題や悩みを相談できる場所	勉強を教えてくれる人がいる場所	今のままで満足している	ちがう世代の人と交流できる場所	その他	わからない	無回答
10～12歳	301	65.4	46.8	51.2	15.3	15.0	17.6	8.3	14.0	10.3	7.0	3.7	3.0	1.7	-
13～15歳	386	65.0	54.7	43.0	18.4	17.4	16.3	13.7	9.6	11.9	6.7	5.4	1.8	0.8	0.3
16～17歳	319	66.5	69.9	40.4	18.5	15.0	13.5	19.4	9.1	7.8	4.1	5.3	1.3	1.6	0.3

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／希望の居場所】

▶希望の居場所について、18～39 歳を年代別でみると、“18～19 歳”は「友だち、仲間とすごせる場所」、「20～39 歳」は「一人で自由にすごせる場所」が最も高くなっている。また、年代が下がるにつれ、「友だち、仲間とすごせる場所」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	一人で自由にすごせる場所	友だち、仲間とすごせる場所	スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	新しい発見があるような場所	問題や悩みを相談できる場所	学校・職場以外で同世代の人と出会える場所	仲間と共通の目標のため活動できる場所	ちがう世代の人と交流できる場所	自主学習ができる場所	勉強を教えてくれる人がいる場所	その他	わからない	今のままで満足している	無回答
18～19歳	42	69.0	71.4	35.7	21.4	21.4	4.8	7.1	2.4	9.5	4.8	-	-	7.1	-
20～24歳	112	72.3	56.3	31.3	25.9	16.1	21.4	8.9	11.6	7.1	3.6	1.8	2.7	1.8	0.9
25～29歳	146	74.0	49.3	30.8	27.4	13.7	12.3	13.7	5.5	6.2	2.1	0.7	0.7	5.5	-
30～34歳	183	66.1	42.1	29.0	33.3	19.1	18.6	15.3	8.2	6.6	5.5	1.6	2.2	5.5	0.5
35～39歳	237	72.2	40.9	30.4	30.8	17.3	13.1	10.5	10.1	3.4	6.8	1.7	1.7	6.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

（５）困った時に助けてくれると思う人

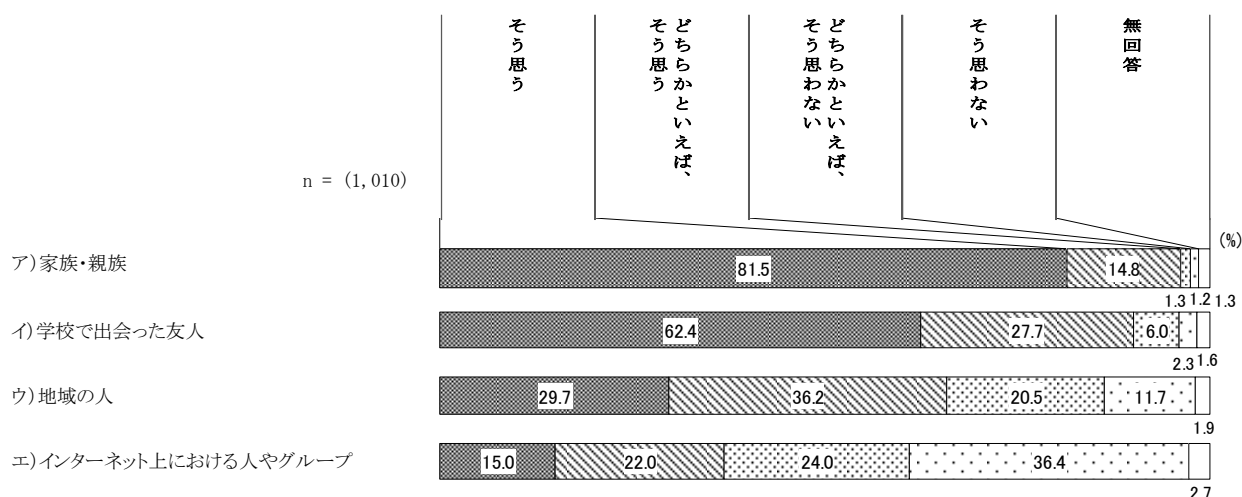
10～17 歳

18～39 歳

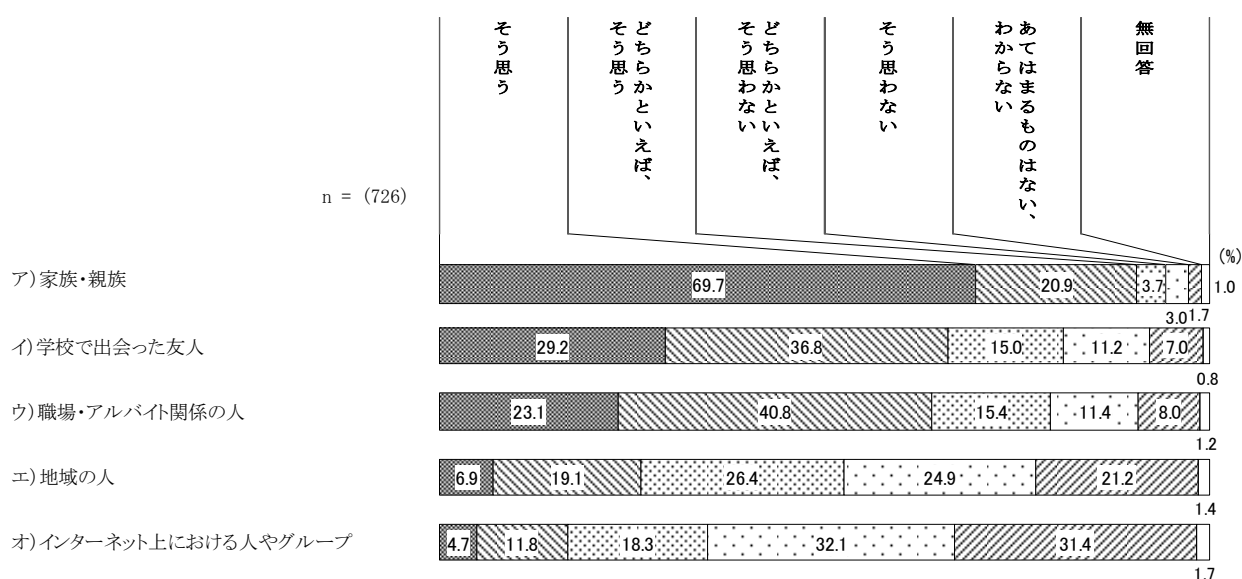
- ▶ 困った時に助けてくれると思う人について、10～17 歳では、「ア）家族・親族」、「イ）学校で出会った友人」では《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が9割を超えており、特に「ア）家族・親族」は96.3%と最も高くなっている。一方、「ウ）地域」、「エ）インターネット上における人やグループ」では、7割以下とほかの項目に比べ低くなっている。
- ▶ 18～39 歳では、「ア）家族・親族」では《そう思う》が90.6%と最も高く、次いで「イ）学校で出会った友人」（66.0%）、「ウ）職場・アルバイト関係の人」（63.9%）となっている。一方、「エ）地域」、「オ）インターネット上における人やグループ」では、3割以下とほかの項目に比べ低くなっている。

問 10（問 8） 次の人達は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。
（それぞれ○は1つ）

10～17 歳



18～39 歳



【性別／困った時に助けしてくれると思う人 ウ）地域の人】

▶“ウ）地域の人”について、10～17 歳を性別でみると、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合が、“男性”では 26.1%、“女性”では 36.4%となっており、“女性”の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう 思 う か と い え ば、	そ ど ち ら か と い え ば、	そ う 思 わ な い	無 回 答
男性	475	32.4	38.5	19.2	6.9	2.9
女性	511	28.2	34.6	21.1	15.3	0.8
その他	21	9.5	28.6	28.6	28.6	4.8

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／困った時に助けしてくれると思う人 イ）学校で出会った友人】

▶“イ）学校で出会った友人”について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“20～24 歳”で 80.3%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 34.6%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう 思 う	そ ど ち ら か と い え ば、	そ ど ち ら か と い え ば、	そ う 思 わ な い	い、あ ては ま ら な い の は な	無 回 答
18～19歳	42	45.2	33.3	11.9	4.8	4.8	—
20～24歳	112	33.0	47.3	6.3	4.5	8.9	—
25～29歳	146	36.3	33.6	14.4	8.9	6.8	—
30～34歳	183	27.3	33.9	15.8	13.7	8.2	1.1
35～39歳	237	22.4	37.1	19.8	14.8	5.1	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／困った時に助けてくれると思う人 ウ）職場・アルバイト関係の人】

▶“ウ）職場・アルバイト関係の人”について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思わない（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 31.7%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	い、あてはまるものはない	無回答
18～19歳	42	31.0	26.2	7.1	7.1	28.6	-
20～24歳	112	29.5	36.6	9.8	12.5	10.7	0.9
25～29歳	146	28.1	42.5	15.8	6.2	7.5	-
30～34歳	183	16.9	45.4	16.4	13.7	6.0	1.6
35～39歳	237	20.7	41.4	18.6	13.1	5.1	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／困った時に助けてくれると思う人 エ）地域の人】

▶“エ）地域の人”について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 42.9%となっている。一方、《そう思わない（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 55.7%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	い、あてはまるものはない	無回答
18～19歳	42	26.2	16.7	31.0	11.9	14.3	-
20～24歳	112	8.0	21.4	26.8	21.4	21.4	0.9
25～29歳	146	5.5	15.1	26.7	22.6	29.5	0.7
30～34歳	183	4.4	21.3	25.7	26.2	20.8	1.6
35～39歳	237	5.9	19.8	26.2	29.5	17.3	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／困った時に助けしてくれると思う人 オ）インターネット上における人やグループ】

▶“オ）インターネット上における人やグループ”について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 35.7%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 58.2%となっている。

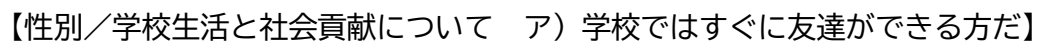
18～39 歳

単位：％

区分	調査数 (件)	そう 思う	そう 思う か と い え ば、	ど ち ら か と い え ば、	そ う 思 わ な い	い、 あ て は ま ら な い の は な	無 回 答
18～19歳	42	14.3	21.4	19.0	19.0	26.2	-
20～24歳	112	8.9	16.1	19.6	26.8	26.8	1.8
25～29歳	146	6.2	11.6	18.5	24.7	37.7	1.4
30～34歳	183	2.2	13.1	20.8	31.7	30.6	1.6
35～39歳	237	2.1	7.2	16.0	42.2	31.2	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

- ▶学校生活と社会貢献について、「ア）学校ではすぐに友達ができる方だ」では《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 73.9%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 24.7%となっている。
- ▶「イ）「社会のために役立つことをしたい」と思う」では《そう思う》が 87.3%、《そう思わない》が、11.0%となっている。



10~17 歳

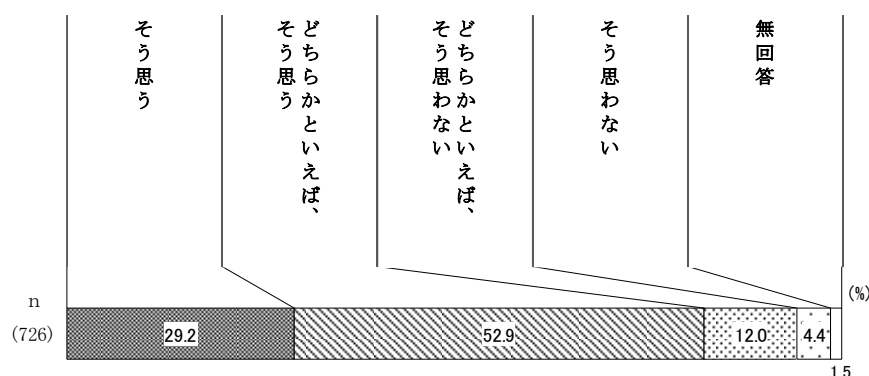
※着色した数値は、各行の最大値

（７）社会貢献について

▶社会貢献について、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 82.1%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 16.4%となっている。

問 11 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

（○は1つ）



※社会貢献に関する設問は 10～17 歳、18～39 歳で同様の内容である。ただし、10～17 歳はマトリクス形式の設問としたため、結果は別掲とした。

【年代別／社会貢献について】

▶社会貢献について、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 92.9%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 19.0%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
18～19歳	42	42.9	50.0	2.4	4.8	-
20～24歳	112	40.2	44.6	9.8	2.7	2.7
25～29歳	146	28.8	54.1	11.6	4.8	0.7
30～34歳	183	27.9	53.6	13.1	3.8	1.6
35～39歳	237	23.6	56.5	13.5	5.5	0.8

※着色した数値は、各行の最大値

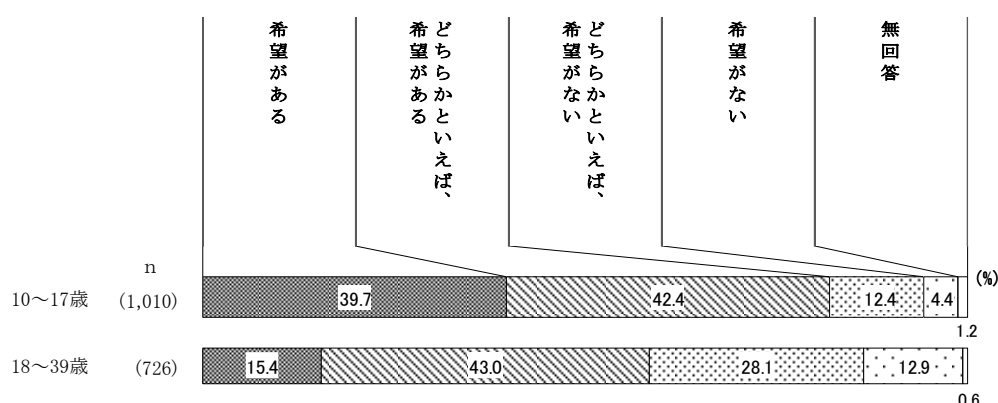
（８）自分の将来について明るい希望を持っているか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶自分の将来について明るい希望を持っているかについて、10～17 歳では、《希望がある》（「希望がある」+「どちらかといえば、希望がある」）が 82.1%、《希望がない》（「希望がない」+「どちらかといえば、希望がない」）が 16.8%となっている。
- ▶18～39 歳では、《希望がある》が 58.4%、《希望がない》が 41.0%となっている。

問 12（問 10）あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は 1 つ）



【年代別／自分の将来について明るい希望を持っているか】

- ▶自分の将来について明るい希望を持っているかについて、18～39 歳を年代別でみると、《希望がある》（「希望がある」+「どちらかといえば、希望がある」）の割合は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 73.8%となっている。一方、《希望がない》（「希望がない」+「どちらかといえば、希望がない」）の割合は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 43.5%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	希望がある	どちらかといえば、希望がある	どちらかといえば、希望がない	希望がない	無回答
18～19歳	42	33.3	40.5	23.8	2.4	-
20～24歳	112	18.8	40.2	28.6	12.5	-
25～29歳	146	20.5	39.0	29.5	11.0	-
30～34歳	183	14.8	43.7	27.3	13.7	0.5
35～39歳	237	8.4	47.7	28.3	15.2	0.4

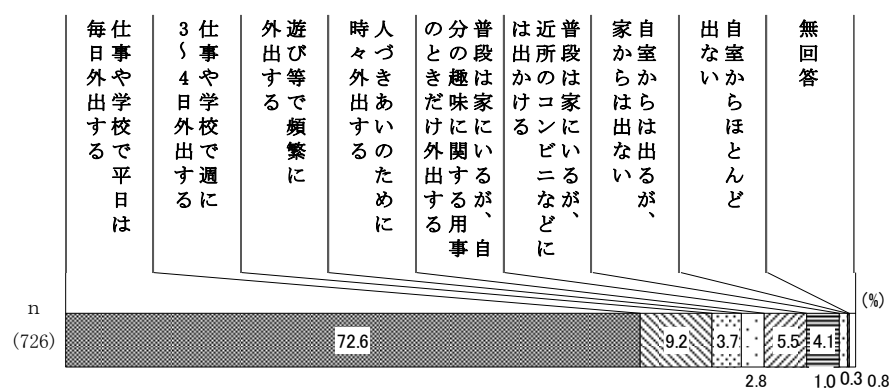
※着色した数値は、各行の最大値

（９）外出頻度

18～39 歳

▶外出頻度について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」（9.2%）、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」（5.5%）となっている。

問 13 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。（○は1つ）

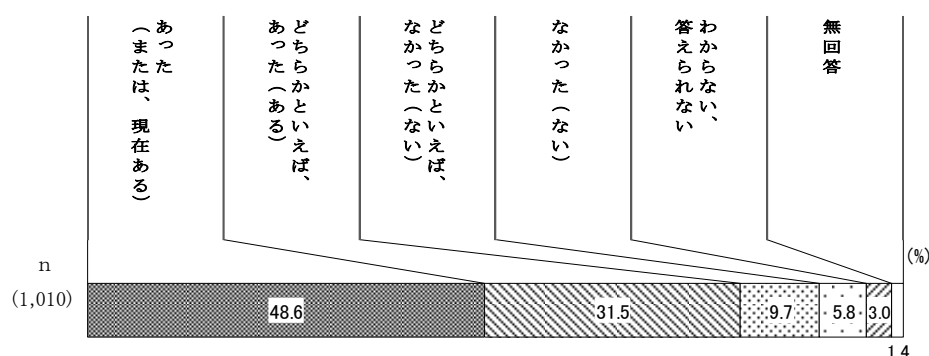


（１０）落ち込んだ経験

10～17 歳

▶ 落ち込んだ経験について、《あった（または、現在ある）》（「あった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）が 80.1%、《なかった》（「なかった（ない）」+「どちらかといえば、なかった」）が 15.5%となっている。

（問 11） あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。
または、現在、ありますか。（○は 1 つ）



【年代別／落ち込んだ経験】

▶ 落ち込んだ経験について、10～17 歳を年代別でみると、《あった（または、現在ある）》（「あった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で 86.2%となっている。一方、《なかった》（「なかった（ない）」+「どちらかといえば、なかった」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“10～12 歳”で 21.9%となっている。

10～17 歳

単位：%

区分	調査数（件）	あった（または、現在ある）	どちらかといえば、あった（ある）	どちらかといえば、なかった（ない）	なかった（ない）	わからない、答えられない	無回答
10～12歳	301	38.5	33.9	13.6	8.3	4.0	1.7
13～15歳	386	50.5	30.8	8.0	6.2	2.8	1.6
16～17歳	319	56.1	30.1	7.5	3.1	2.2	0.9

※着色した数値は、各行の最大値

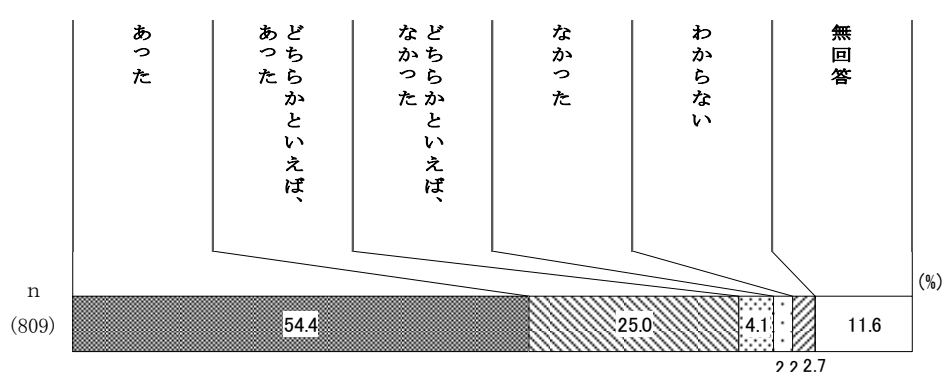
（１１）落ち込んだ状態から元に戻った経験

10～17 歳

▶落ち込んだ状態から元に戻った経験について、《あった》（「あった」+「どちらかといえば、あった」）が 79.4%、《なかった》（「なかった」+「どちらかといえば、なかった」）が 6.3%となっている。

【問 11 で「あった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

（問 12） あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）



【年代別／落ち込んだ状態から元に戻った経験】

▶落ち込んだ状態から元に戻った経験はあるかについて、10～17 歳を年代別でみると、《あった》（「あった」+「どちらかといえば、あった」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で 86.2%となっている。

10～17 歳

単位：%

区分	調査数（件）	あった	どちらかといえば、あった	どちらかといえば、なかった	なかった	わからない	無回答
10～12歳	218	49.5	24.8	2.8	3.2	1.8	17.9
13～15歳	314	56.4	21.0	5.1	1.6	2.9	13.1
16～17歳	275	56.4	29.8	4.0	2.2	2.5	5.1

※着色した数値は、各行の最大値

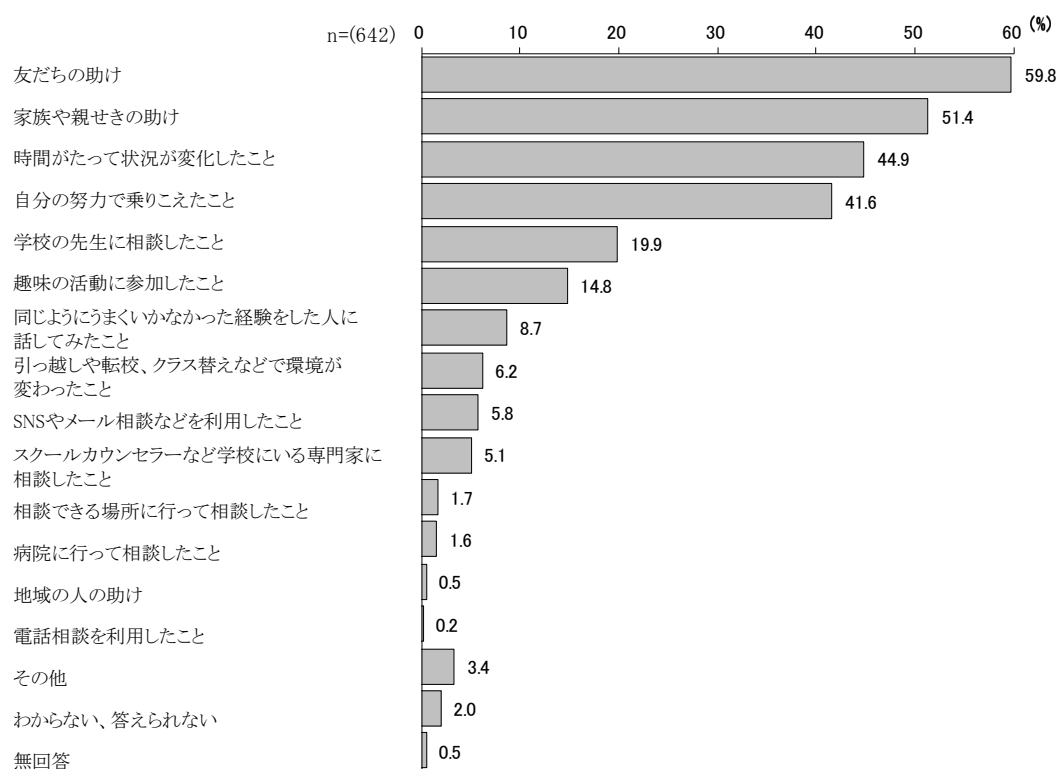
（１２）落ち込んだ状態から元にもどったきっかけ

10～17 歳

▶ 落ち込んだ状態から元にもどったきっかけについて、「友だちの助け」が 59.8%と最も高く、次いで「家族や親せきの助け」（51.4%）、「時間がたって状況が変化したこと」（44.9%）となっている。

【問 12 で「あった」「どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください。】

（問 13）落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。
（〇はいくつでも）



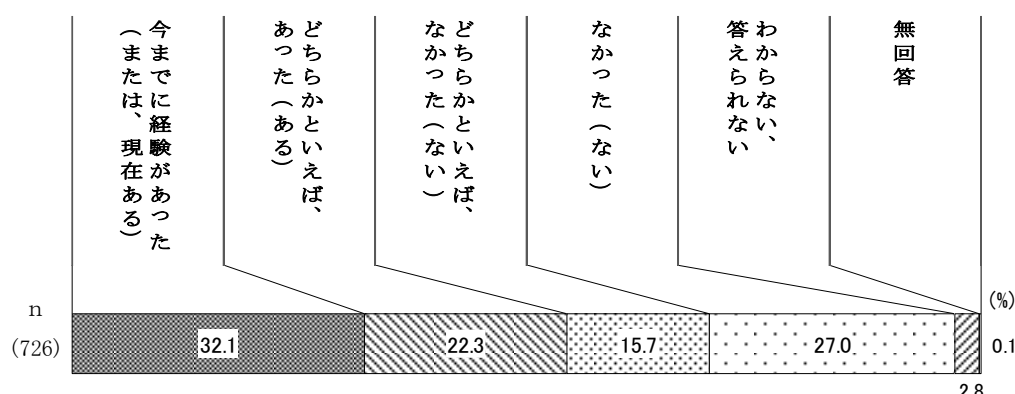
（１３）社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験

18～39 歳

- ▶社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験について、《今までに経験があった（または、現在ある）》（「今までに経験があった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）が 54.4%、《なかった（ない）》（「なかった（ない）」+「どちらかといえば、なかった（ない）」）が 42.7%となっている。

問 14 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることできなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。

（○は1つ）



【年代別／社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験】

- ▶社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験について、18～39 歳を年代別でみると、《今までに経験があった（または、現在ある）》（「今までに経験があった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 58.2%となっている。

18～39 歳

単位：%

区分	調査数（件）	今までに経験があった（または、現在ある）	どちらかといえば、あった（ある）	どちらかといえば、なかった（ない）	なかった（ない）	わからない、答えられない	無回答
18～19歳	42	35.7	11.9	11.9	31.0	9.5	-
20～24歳	112	35.7	15.2	17.9	27.7	3.6	-
25～29歳	146	28.1	23.3	17.1	29.5	2.1	-
30～34歳	183	33.3	21.9	16.9	25.7	2.2	-
35～39歳	237	30.8	27.4	13.9	26.2	1.7	-

※着色した数値は、各行の最大値

（１４）社会生活や日常生活が困難である主な原因

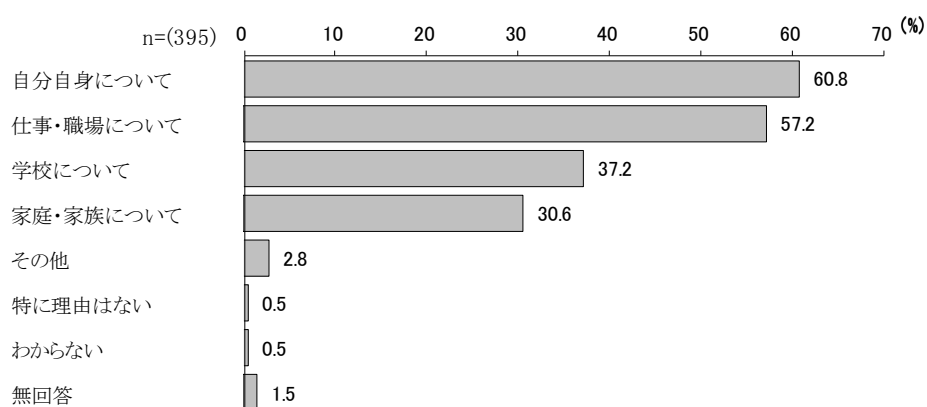
18～39 歳

- ▶ 社会生活や日常生活が困難である主な原因について、「自分自身について」が 60.8%と最も高く、次いで「仕事・職場について」（57.2%）、「学校について」（37.2%）となっている。

【問 14 で「今までに経験があった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 15 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

（〇はいくつでも）



【年代別／社会生活や日常生活が困難である主な原因】

- ▶ 社会生活や日常生活が困難である主な原因について、18～39 歳を年代別でみると、“18～29 歳”は「自分自身について」、「25～39 歳”は「仕事・職場について」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「家庭・家族について」と「仕事・職場について」の割合が概ね高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「自分自身について」と「学校について」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	自分自身について	仕事・職場について	学校について	家庭・家族について	その他	特に理由はない	わからない	無回答
18～19歳	20	70.0	20.0	55.0	20.0	-	5.0	-	-
20～24歳	57	71.9	42.1	45.6	33.3	1.8	-	-	3.5
25～29歳	75	61.3	61.3	33.3	29.3	-	1.3	1.3	2.7
30～34歳	101	60.4	61.4	32.7	32.7	3.0	-	-	2.0
35～39歳	138	53.6	63.8	37.0	30.4	5.1	-	0.7	-

※着色した数値は、各行の最大値

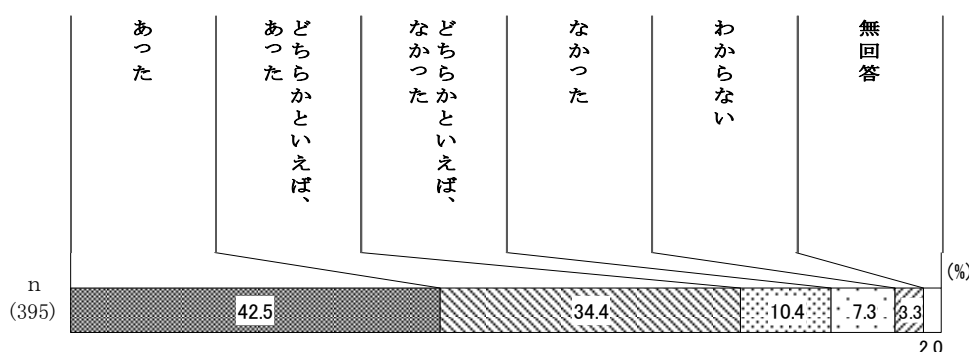
（１５）社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善した経験

18～39 歳

▶社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善した経験について、《あった》（「あった」+「どちらかといえば、あった」）が 76.9%、《なかった》（「なかった」+「どちらかといえば、なかった」）が 17.7%となっている。

【問 14 で「今までに経験があった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 16 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。（○は 1 つ）



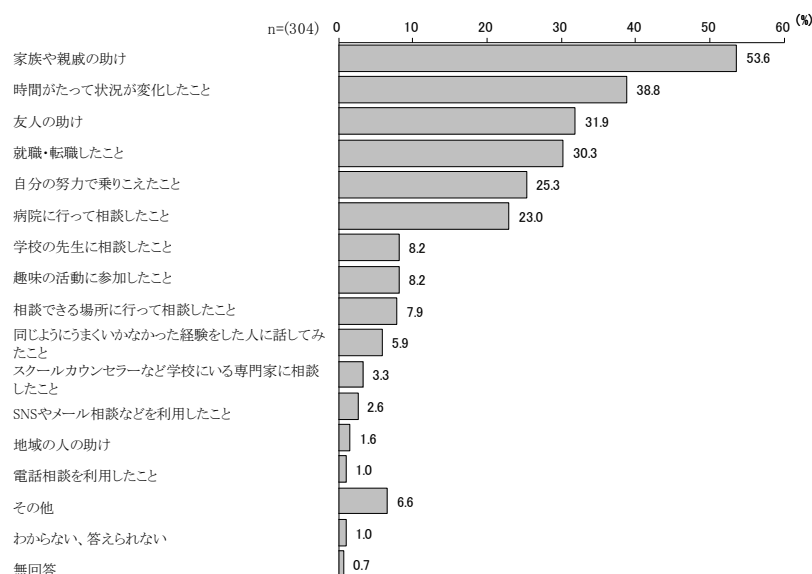
（１６）社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと

18～39 歳

▶社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについて、「家族や親戚の助け」が 53.6%と最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」（38.8%）、「友人の助け」（31.9%）となっている。

【問 16 で「あった」「どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 17 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。（○はいくつでも）



【性別／社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと】

- ▶ 社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについて、18～39 歳を性別でみると、「女性」は「男性」に比べ、「就職・転職したこと」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	家族や親戚の助け	時間がたつて状況が変化したこと	友人の助け	就職・転職したこと	自分の努力で乗りこえたこと	病院に行つて相談したこと	学校の先生に相談したこと	趣味の活動に参加したこと	相談できる場所に行つて相談したこと	同じようにうまくいかなかった経験をした人	スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	SNS やメール相談などを利用したこと	地域の人の助け	電話相談を利用したこと	その他	わからない、答えられ	無回答
男性	108	51.9	34.3	26.9	24.1	26.9	16.7	9.3	5.6	2.8	3.7	2.8	1.9	2.8	-	5.6	-	0.9
女性	186	55.4	43.0	33.9	34.9	24.7	25.3	6.5	9.7	10.8	7.0	3.2	2.7	1.1	1.6	7.5	1.1	-
その他	8	25.0	12.5	37.5	12.5	25.0	50.0	12.5	12.5	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	12.5

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと】

- ▶ 社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについて、18～39 歳を年代別でみると、すべての年代で「家族や親戚の助け」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「自分の努力で乗りこえたこと」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「家族や親戚の助け」、「友人の助け」、「学校の先生に相談したこと」、「スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと」、「病院に行つて相談したこと」、「就職・転職したこと」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	家族や親戚の助け	時間がたつて状況が変化したこと	友人の助け	就職・転職したこと	自分の努力で乗りこえたこと	病院に行つて相談したこと	学校の先生に相談したこと	趣味の活動に参加したこと	相談できる場所に行つて相談したこと	同じようにうまくいかなかった経験をした人	スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	SNS やメール相談などを利用したこと	地域の人の助け	電話相談を利用したこと	その他	わからない、答えられ	無回答
18～19歳	15	66.7	46.7	40.0	-	13.3	33.3	33.3	13.3	13.3	-	13.3	6.7	6.7	-	6.7	-	-
20～24歳	45	64.4	28.9	37.8	24.4	26.7	26.7	11.1	11.1	8.9	15.6	8.9	4.4	2.2	-	6.7	-	-
25～29歳	57	49.1	33.3	28.1	42.1	17.5	12.3	5.3	15.8	3.5	3.5	1.8	3.5	-	-	8.8	1.8	1.8
30～34歳	75	53.3	42.7	34.7	28.0	24.0	34.7	4.0	6.7	9.3	4.0	1.3	-	1.3	-	4.0	-	-
35～39歳	109	49.5	42.2	28.4	33.0	32.1	18.3	6.4	3.7	7.3	5.5	1.8	2.8	1.8	2.8	6.4	1.8	0.9

※着色した数値は、各行の最大値

（１７）悩みや困りごと

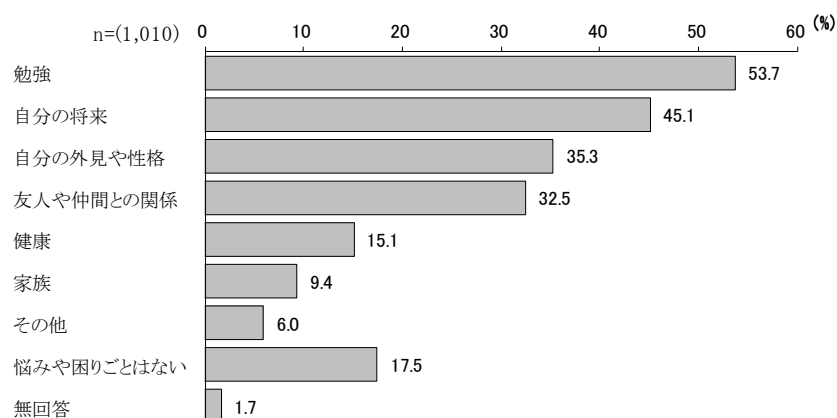
10～17 歳

18～39 歳

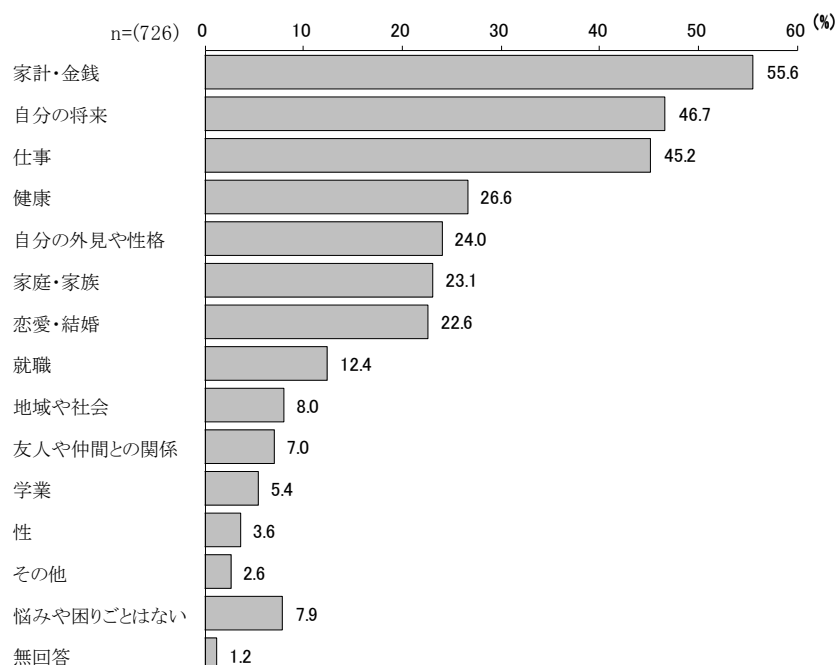
- ▶悩みや困りごとについて、10～17 歳では、「勉強」が 53.7%と最も高く、次いで「自分の将来」（45.1%）、「自分の外見や性格」（35.3%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「家計・金銭」が 55.6%と最も高く、次いで「自分の将来」（46.7%）、「仕事」（45.2%）となっている。

問 18（問 14）あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。（○はいくつでも）

10～17 歳



18～39 歳



【性別／悩みや困りごと】

▶ 悩みや困りごとについて、10～17 歳を性別でみると、“女性”は“男性”に比べ、「友人や仲間との関係」と「自分の外見や性格」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	勉強	自分の将来	自分の外見や性格	友人や仲間との関係	健康	家族	その他	い 悩みや困りごとはな	無回答
男性	475	49.7	41.1	23.6	21.9	15.6	6.1	4.8	21.3	2.7
女性	511	57.7	49.1	45.8	42.3	13.9	11.7	6.8	13.7	0.6
その他	21	47.6	47.6	52.4	38.1	38.1	28.6	14.3	19.0	4.8

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／悩みや困りごと】

▶ 悩みや困りごとについて、10～17 歳を年代別でみると、“10～15 歳”は「勉強」、「16～17 歳”は「自分の将来」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「勉強」、「自分の外見や性格」、「自分の将来」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	勉強	自分の将来	自分の外見や性格	友人や仲間との関係	健康	家族	その他	い 悩みや困りごとはな	無回答
10～12歳	301	39.5	30.6	29.9	29.9	14.3	8.0	7.3	27.2	1.7
13～15歳	386	64.0	45.9	32.6	33.4	15.8	7.0	4.9	15.0	1.6
16～17歳	319	54.5	58.3	44.2	33.5	15.4	13.8	6.3	11.3	1.9

※着色した数値は、各行の最大値

【性別／悩みや困りごと】

▶ 悩みや困りごとについて、18～39 歳を性別でみると、“女性”は“男性”に比べ、「自分の外見や性格」の割合が高くなっている。一方、“男性”は“女性”に比べ、「恋愛・結婚」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	家計・金銭	自分の将来	仕事	健康	自分の外見や性格	家庭・家族	恋愛・結婚	就職	地域や社会	友人や仲間との関係	学業	性	その他	悩みや困りごとはない	無回答
男性	290	53.4	43.8	47.2	21.0	15.2	20.0	29.3	12.1	9.7	9.3	7.9	3.8	1.7	10.0	1.4
女性	416	58.2	48.1	43.3	29.8	29.8	25.2	18.3	12.5	6.7	5.5	3.6	3.1	3.4	6.5	1.0
その他	16	37.5	62.5	56.3	43.8	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3	12.5	-	6.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／悩みや困りごと】

▶ 悩みや困りごとについて、18～39 歳を年代別でみると、“18～24 歳”は「自分の将来」が最も高く、“25～39 歳”は「家計・金銭」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「仕事」、「家計・金銭」、「家庭・家族」、「健康」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「就職」、「学業」、「友人や仲間との関係」、「恋愛・結婚」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	家計・金銭	自分の将来	仕事	健康	自分の外見や性格	家庭・家族	恋愛・結婚	就職	地域や社会	友人や仲間との関係	学業	性	その他	悩みや困りごとはない	無回答
18～19歳	42	42.9	47.6	31.0	16.7	28.6	11.9	33.3	33.3	2.4	19.0	40.5	4.8	-	11.9	-
20～24歳	112	40.2	58.9	46.4	17.9	33.0	9.8	33.0	21.4	10.7	14.3	12.5	1.8	0.9	9.8	0.9
25～29歳	146	52.7	47.3	45.9	19.2	21.9	13.7	34.2	7.5	6.8	2.7	2.1	2.7	2.1	9.6	0.7
30～34歳	183	56.8	47.0	48.1	30.6	20.8	29.5	19.7	10.9	8.7	6.0	0.5	5.5	3.8	9.3	-
35～39歳	237	66.2	40.9	44.3	33.8	21.9	32.5	11.4	8.4	7.6	5.1	1.7	3.4	3.4	4.2	2.1

※着色した数値は、各行の最大値

（１８）落ち込んだ時、相談したい人や場所

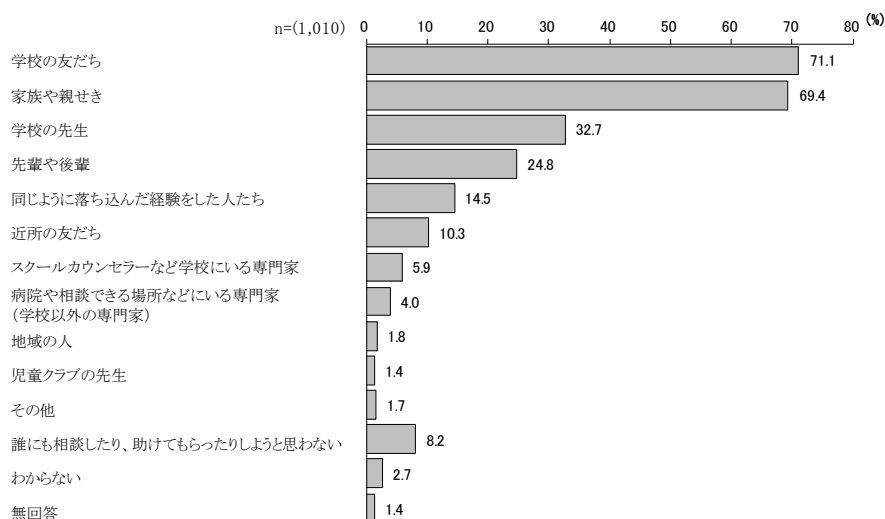
10～17 歳

18～39 歳

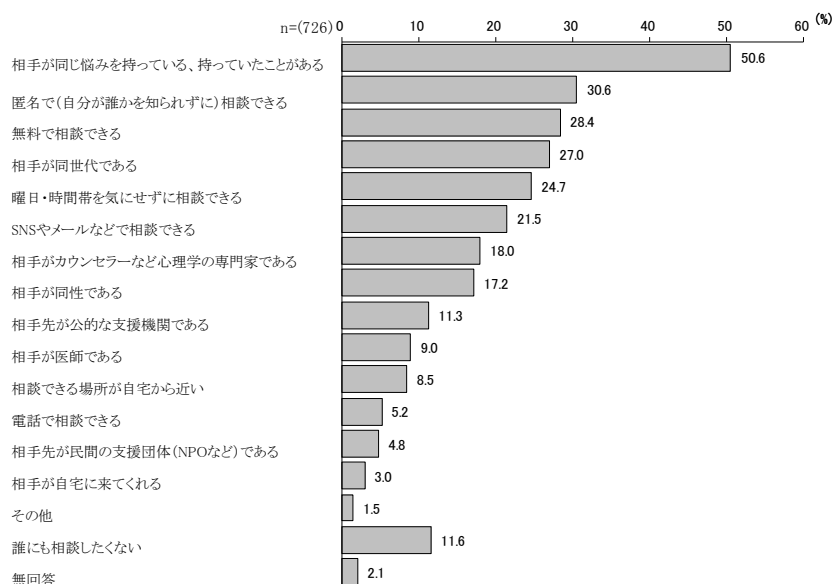
- ▶ 落ち込んだ時、相談したい人や場所について、10～17 歳では、「学校の友だち」が 71.1%と最も高く、次いで「家族や親せき」（69.4%）、「学校の先生」（32.7%）となっている。一方、8.2%が「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」と回答している。
- ▶ 18～39 歳では、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 50.6%と最も高く、次いで「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」（30.6%）、「無料で相談できる」（28.4%）となっている。一方、11.6%が「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」と回答している。

問 19（問 15）あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。（○はいくつでも）
※10～17 歳については、家族や知り合いも含めて相談したい人、助けてもらいやすい人について尋ねています。

10～17 歳



18～39 歳



【性別／落ち込んだ時、相談したい人や場所】

▶ 落ち込んだ時、相談したい人や場所について、18～39 歳を性別でみると、「女性」は「男性」に比べ、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある	匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる	無料で相談できる	相手が同世代である	曜日・時間帯を気にせずに相談できる	SNS やメールなどで相談できる	相手がカウンセラーなど心理学の専門家である	相手が同性である	相手先が公的な支援機関である	相手が医師である	相談できる場所が自宅から近い	電話で相談できる	相手先が民間の支援団体（NPO など）である	相手が自宅に来てくれる	その他	誰にも相談したくない	無回答
男性	290	46.6	25.2	22.8	32.8	18.3	19.3	14.5	11.7	11.4	9.0	6.2	5.5	4.8	2.8	1.7	12.4	1.7
女性	416	54.3	34.4	32.5	23.6	29.3	22.8	20.7	21.2	11.5	8.4	10.3	5.3	4.8	3.4	1.2	10.1	2.2
その他	16	25.0	25.0	31.3	6.3	18.8	31.3	18.8	12.5	6.3	25.0	6.3	-	6.3	-	6.3	31.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／落ち込んだ時、相談したい人や場所】

▶ 落ち込んだ時、相談したい人や場所について、18～39 歳を年代別でみると、すべての年代で「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が最も高くなっている。また、年代が下がるにつれ、「相手が同世代である」と「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある	匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる	無料で相談できる	相手が同世代である	曜日・時間帯を気にせずに相談できる	SNS やメールなどで相談できる	相手がカウンセラーなど心理学の専門家である	相手が同性である	相手先が公的な支援機関である	相手が医師である	相談できる場所が自宅から近い	電話で相談できる	相手先が民間の支援団体（NPO など）である	相手が自宅に来てくれる	その他	誰にも相談したくない	無回答
18～19歳	42	57.1	31.0	28.6	47.6	35.7	26.2	21.4	19.0	9.5	9.5	19.0	11.9	4.8	9.5	-	2.4	2.4
20～24歳	112	47.3	29.5	30.4	36.6	25.0	25.9	15.2	21.4	10.7	5.4	4.5	5.4	6.3	2.7	0.9	14.3	1.8
25～29歳	146	48.6	29.5	23.3	28.1	19.2	16.4	16.4	20.5	8.9	6.2	2.1	2.7	2.1	2.7	2.1	12.3	2.1
30～34歳	183	53.0	34.4	29.5	24.6	25.7	23.5	15.8	18.0	13.1	10.4	11.5	4.4	5.5	4.4	1.1	9.3	0.5
35～39歳	237	50.6	29.1	30.4	20.3	25.7	20.7	21.9	12.7	12.2	11.4	10.5	6.3	5.5	1.3	1.7	13.1	2.5

※着色した数値は、各行の最大値

（１９）誰にも相談したくないと思う理由

10～17 歳

18～39 歳

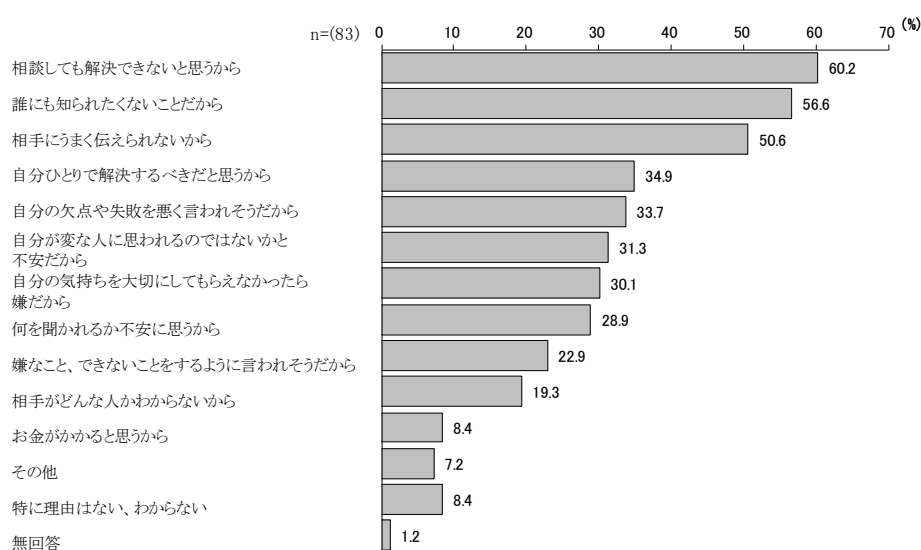
- ▶ 誰にも相談したくないと思う理由について、10～17 歳では、「相談しても解決できないと思うから」が 60.2%と最も高く、次いで「誰にも知られたくないことだから」（56.6%）、「相手にうまく伝えられないから」（50.6%）となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「相談しても解決できないと思うから」が 56.0%と最も高く、次いで「相手にうまく伝えられないから」（26.2%）、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」（22.6%）となっている。

【問 19 で「誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

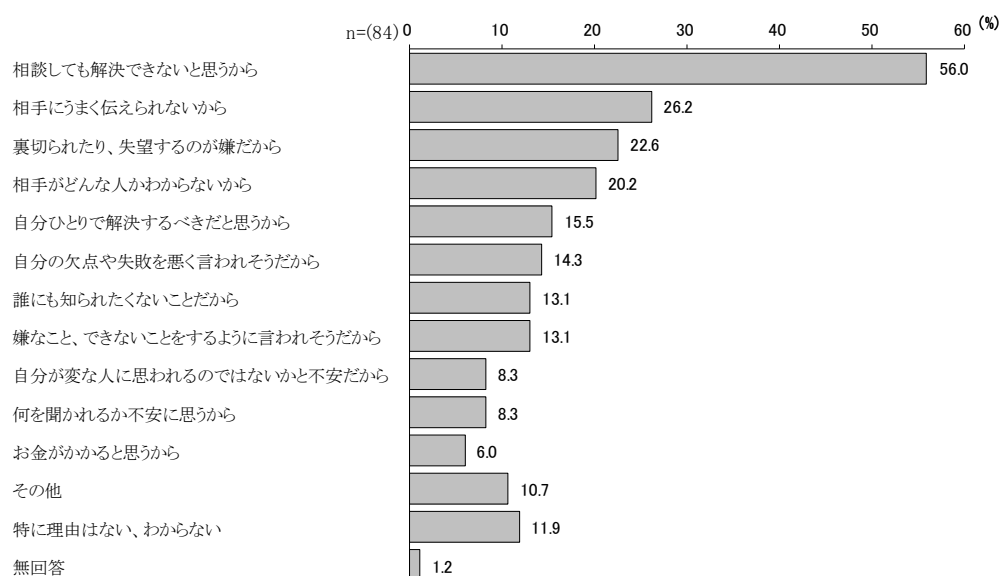
問 20（問 16）相談したくないと思う理由は何ですか。

（○はいくつでも）

10～17 歳



18～39 歳



【性別／誰にも相談したくないと思う理由】

▶ 誰にも相談したくないと思う理由について、10～17 歳を性別でみると、“女性”は“男性”に比べ、「相談しても解決できないと思うから」、「誰にも知られたくないことだから」、「自分が変な人に思われるのではないかと不安だから」、「自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから」、「相手がどんな人かわからないから」、「何を聞かれるか不安に思うから」、「嫌なこと、できないことをするように言われそうだから」、「相手にうまく伝えられないから」、「自分の気持ちを大切にしてもらえなかったら嫌だから」、「お金がかかると思うから」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	相談しても解決できないと思う	誰にも知られたくないことだから	相手にうまく伝えられないから	自分ひとりで解決するべきだと思うから	自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	自分が変な人に思われるのではないかと不安だから	自分の気持ちを大切にしていなかったら嫌だから	何を聞かれるか不安に思うから	嫌なこと、できないことをするように言われそうだから	相手がどんな人かわからないから	お金がかかると思うから	その他	特に理由はない、わからない	無回答
男性	22	45.5	45.5	13.6	36.4	13.6	18.2	13.6	9.1	9.1	4.5	-	9.1	22.7	-
女性	57	66.7	59.6	64.9	33.3	40.4	35.1	35.1	36.8	28.1	21.1	12.3	7.0	1.8	1.8
その他	3	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	-	-	33.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／誰にも相談したくないと思う理由】

▶ 誰にも相談したくないと思う理由について、10～17 歳を年代別でみると、“10～12 歳”は「誰にも知られたくないことだから」、すべての年代で「相談しても解決できないと思うから」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「相談しても解決できないと思うから」、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」、「相手がどんな人かわからないから」、「何を聞かれるか不安に思うから」、「嫌なこと、できないことをするように言われそうだから」の割合が概ね高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	相談しても解決できないと思う	誰にも知られたくないことだから	相手にうまく伝えられないから	自分ひとりで解決するべきだと思うから	自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	自分が変な人に思われるのではないかと不安だから	自分の気持ちを大切にしていえなかつたら嫌だから	何を聞かれるか不安に思うから	嫌なこと、できないことをするように言われそうだから	相手がどんな人かわからないから	お金がかかると思うから	その他	特に理由はない、わからない	無回答
10～12歳	23	52.2	52.2	47.8	26.1	47.8	30.4	30.4	17.4	17.4	13.0	8.7	8.7	13.0	-
13～15歳	38	60.5	57.9	52.6	39.5	31.6	36.8	26.3	36.8	18.4	18.4	7.9	7.9	5.3	-
16～17歳	21	71.4	61.9	52.4	38.1	23.8	23.8	38.1	28.6	38.1	28.6	9.5	4.8	9.5	-

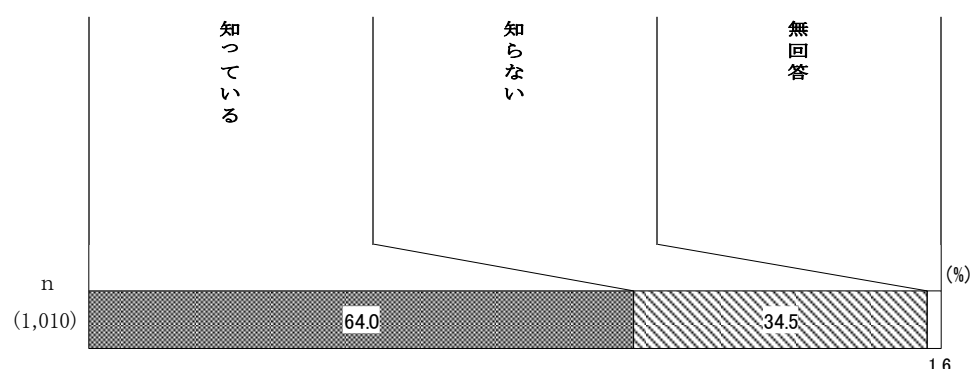
※着色した数値は、各行の最大値

（２０）家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているか

10～17 歳

- ▶家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているかについて、「知っている」が64.0%、「知らない」が34.5%となっている。

（問 17） あなたは、家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。 (○は1つ)



【年代別／家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているか】

- ▶家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているかについて、10～17 歳を年代別でみると、「知っている」の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で70.2%となっている。一方、「知らない」の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“10～12 歳”で39.2%となっている。

10～17 歳

単位：%

区分	調査数（件）	知っている	知らない	無回答
10～12歳	301	58.8	39.2	2.0
13～15歳	386	63.2	35.2	1.6
16～17歳	319	70.2	28.5	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

（２１）こども・若者対象の相談支援機関等の認知度

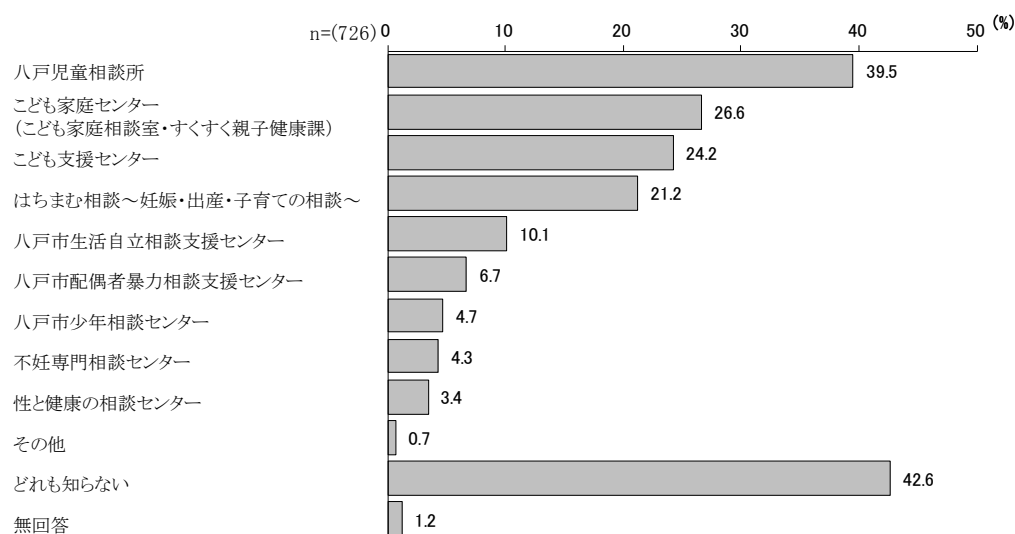
18～39 歳

▶こども・若者対象の相談支援機関等の認知度について、「八戸児童相談所」が 39.5%と最も高く、次いで「こども家庭センター（こども家庭相談室・すくすく親子健康課）」（26.6%）、「こども支援センター」（24.2%）となっている。一方、42.6%が「どれも知らない」と回答している。

問 21 あなたは、こども・若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。

知っている相談支援機関等をすべて選んでください。

（○はいくつでも）



【性別／こども・若者対象の相談支援機関等の認知度】

▶こども・若者対象の相談支援機関等の認知度について、18～39 歳を性別でみると、“女性”は“男性”に比べ、「はちまむ相談～妊娠・出産・子育ての相談～」、「こども家庭センター（こども家庭相談室・すくすく親子健康課）」、「八戸児童相談所」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：%

区分	調査数（件）	八戸児童相談所	こども家庭センター (こども家庭相談室・ すくすく親子健康課)	こども支援センター	はちまむ相談～ 妊娠・出産・子育ての 相談～	八戸市生活自立 相談支援センター	八戸市配偶者暴力 相談支援センター	八戸市少年相談 センター	不妊専門相談 センター	性と健康の 相談センター	その他	どれも知らない	無回答
男性	290	33.1	16.6	20.7	11.0	6.9	3.4	3.4	1.0	3.4	0.3	54.5	1.7
女性	416	44.0	34.1	26.9	28.8	12.5	8.9	5.5	6.5	3.4	1.0	33.7	0.7
その他	16	37.5	18.8	25.0	12.5	6.3	12.5	-	6.3	6.3	-	62.5	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／こども・若者対象の相談支援機関等の認知度】

▶こども・若者対象の相談支援機関等の認知度について、18～39 歳を年代別でみると、すべての年代で「八戸児童相談所」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「はちまむ相談～妊娠・出産・子育ての相談～」、「こども家庭センター（こども家庭相談室・すくすく親子健康課）」と「八戸児童相談所」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	八戸児童相談所	こども家庭センター（こども家庭相談室・すくすく親子健康課）	こども支援センター	はちまむ相談～妊娠・出産・子育ての相談～	八戸市生活自立相談支援センター	八戸市配偶者暴力相談支援センター	八戸市少年相談センター	不妊専門相談センター	性と健康の相談センター	その他	どれも知らない	無回答
18～19歳	42	33.3	7.1	28.6	—	9.5	7.1	4.8	—	4.8	—	45.2	2.4
20～24歳	112	40.2	18.8	24.1	6.3	10.7	8.0	8.0	2.7	2.7	—	52.7	0.9
25～29歳	146	34.9	21.2	17.1	16.4	10.3	5.5	2.7	5.5	2.1	—	54.1	0.7
30～34歳	183	39.9	29.5	27.9	30.1	10.9	7.1	3.3	4.9	3.3	2.2	34.4	0.5
35～39歳	237	43.5	35.4	25.7	28.7	9.3	6.8	5.1	4.6	4.6	0.4	36.3	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

（２２）こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況

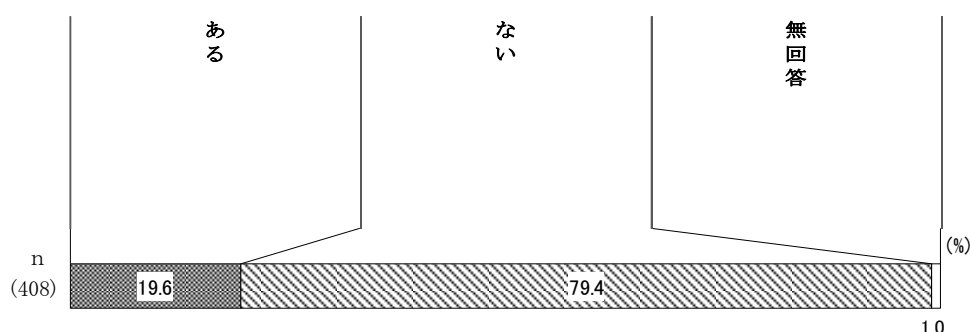
18～39 歳

▶こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況について、「ない」が 79.4%、「ある」が 19.6%となっている。

【問 21 で「知っている相談支援機関等がある」方のみ、お答えください。】

問 22 これらの機関を利用したことはありますか。

（○は１つ）



【年代別／こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況】

▶こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況について、18～39 歳を年代別でみると、「ある」の割合は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 28.4%となっている。一方、「ない」の割合は、年代が下がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“20～24 歳”で 92.3%となっている。

18～39 歳

単位：%

区分	調査数（件）	ある	ない	無回答
18～19歳	22	13.6	81.8	4.5
20～24歳	52	5.8	92.3	1.9
25～29歳	66	10.6	89.4	—
30～34歳	119	21.0	78.2	0.8
35～39歳	148	28.4	70.9	0.7

※着色した数値は、各行の最大値

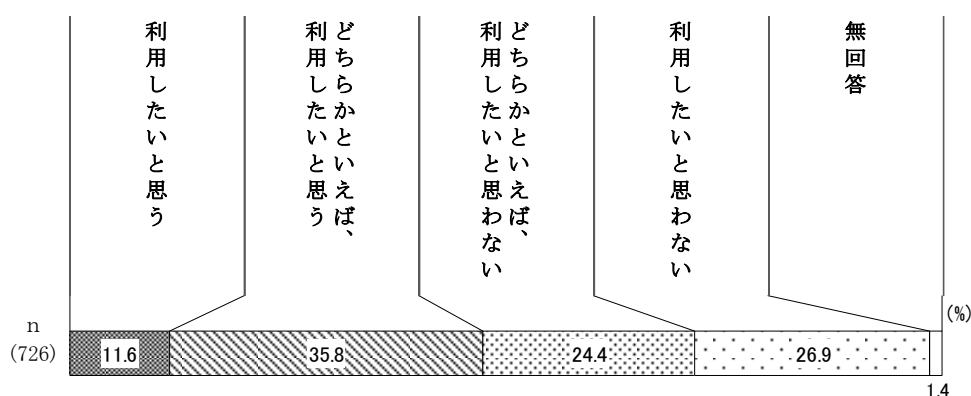
（２３）こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うか

18～39 歳

▶こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うかについて、《利用したいと思う》（「利用したいと思う」+「どちらかといえば、利用したいと思う」）が 47.4%、《利用したいと思わない》（「利用したいと思わない」+「どちらかといえば、利用したいと思わない」）が 51.3%となっている。

問 23 問 21 にある機関等について利用したいと思いますか。

（○は１つ）



【年代別／こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うか】

▶こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うかについて、18～39 歳を年代別でみると、《利用したいと思う》（「利用したいと思う」+「どちらかといえば、利用したいと思う」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、「30～34 歳」で 50.8%となっている。一方、《利用したいと思わない》（「利用したいと思わない」+「どちらかといえば、利用したいと思わない」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、「18～19 歳」で 61.9%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	利用したいと思う	どちらかといえば、利用したいと思う	どちらかといえば、利用したいと思わない	利用したいと思わない	無回答
18～19歳	42	11.9	26.2	28.6	33.3	-
20～24歳	112	10.7	33.0	26.8	26.8	2.7
25～29歳	146	11.6	34.9	22.6	30.8	-
30～34歳	183	10.4	40.4	24.0	24.0	1.1
35～39歳	237	13.1	36.3	23.6	25.7	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

3 結婚に対する考え方について

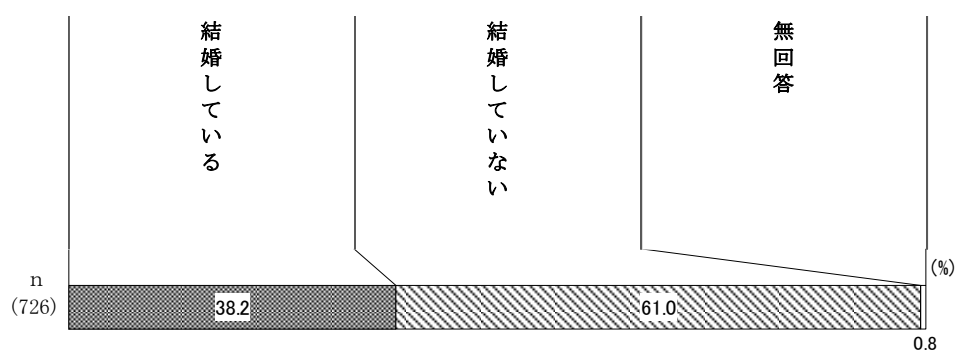
（１）婚姻の状況

18～39 歳

▶婚姻の状況については、「結婚している」が 38.2%、「結婚していない」が 61.0%となっている。

問 24 あなたは現在、結婚（事実婚含む）していますか。

（○は1つ）



（２）結婚に対する考え

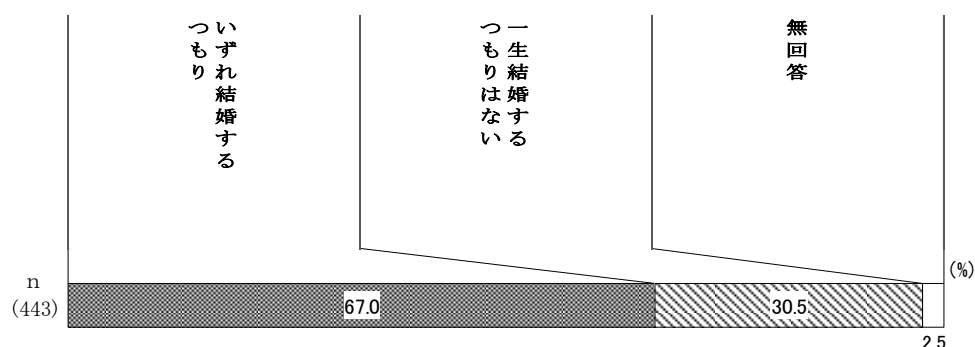
18～39 歳

▶結婚に対する考えについて、「いずれ結婚するつもり」が 67.0%、「一生結婚するつもりはない」が 30.5%となっている。

【問 24 で「結婚していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 25 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えは、次のどちらですか。

（○は1つ）



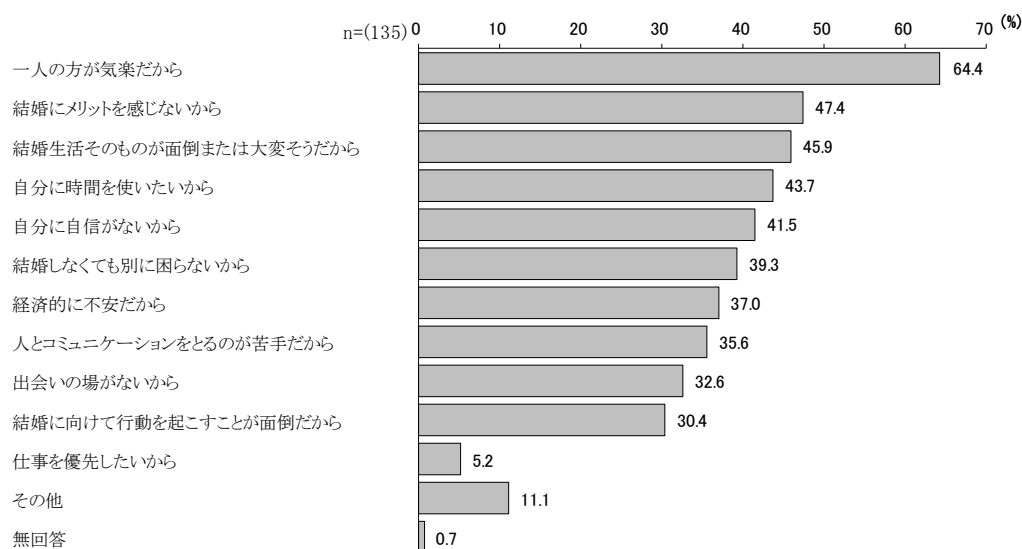
（３）一生結婚するつもりがない理由

18～39 歳

▶ 一生結婚するつもりがない理由について、「一人の方が気楽だから」が 64.4%と最も高く、次いで「結婚にメリットを感じないから」（47.4%）、「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」（45.9%）となっている。

【問 25 で「一生結婚するつもりはない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 26 結婚するつもりがないのはなぜですか。（〇はいくつでも）

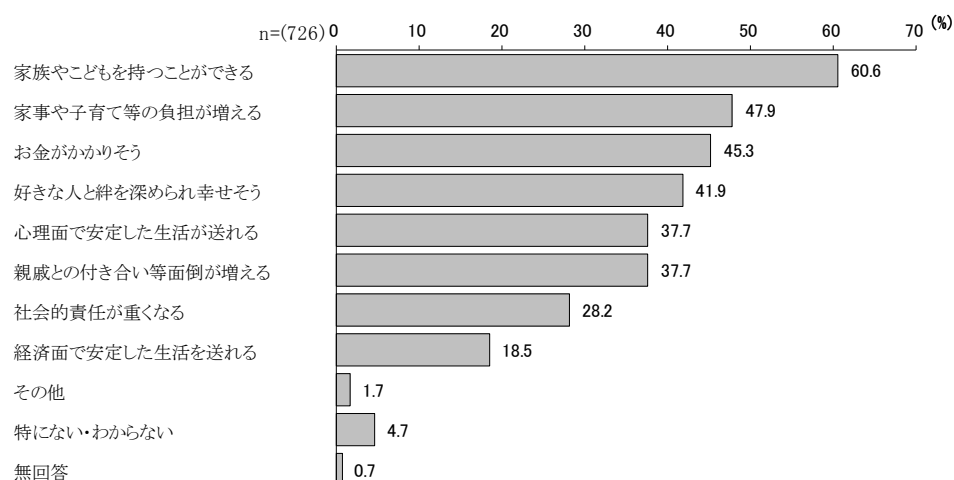


（４）結婚に対するイメージ

18～39 歳

▶ 結婚に対するイメージについて、「家族やこどもを持つことができる」が 60.6%と最も高く、次いで「家事や子育て等の負担が増える」（47.9%）、「お金がかかりそう」（45.3%）となっている。

問 27 あなたは、結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。（〇はいくつでも）

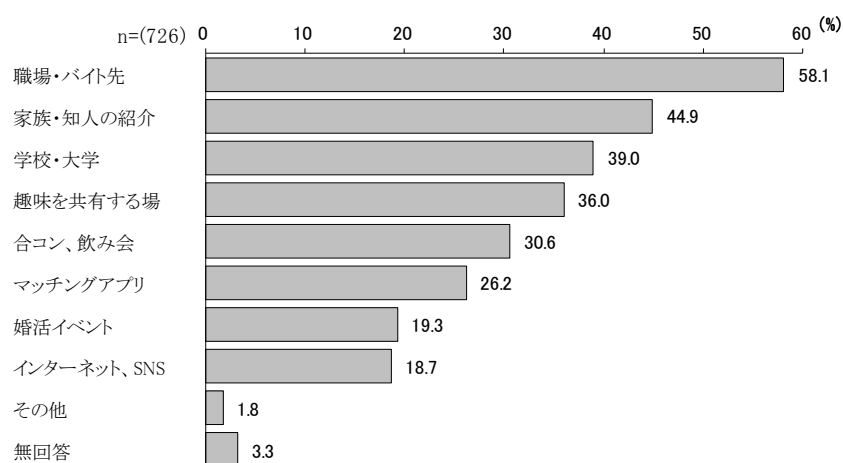


（５）結婚につながると思う出会いのシーン

18～39 歳

▶結婚につながると思う出会いのシーンについて、「職場・バイト先」が 58.1%と最も高く、次いで「家族・知人の紹介」（44.9%）、「学校・大学」（39.0%）となっている。

問 28 あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか。
※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけをお選びください。（〇はいくつでも）



【性別／結婚につながると思う出会いのシーン】

▶結婚につながると思う出会いのシーンについて、18～39 歳を性別でみると、“男性”は“女性”に比べ、「趣味を共有する場」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	職場・バイト先	家族・知人の紹介	学校・大学	趣味を共有する場	合コン、飲み会	マッチングアプリ	婚活イベント	インターネット、SNS	その他	無回答
男性	290	59.0	41.0	40.0	42.1	35.5	27.6	20.3	20.7	1.7	4.5
女性	416	58.2	48.3	38.5	31.7	26.9	25.0	18.0	16.8	1.9	2.2
その他	16	50.0	31.3	37.5	37.5	31.3	37.5	37.5	31.3	-	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／結婚につながると思う出会いのシーン】

▶結婚につながると思う出会いのシーンについて、18～39 歳を年代別でみると、“25～29 歳”では「家族・知人の紹介」、 “25～29 歳以外の年代”では「職場・バイト先」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「家族・知人の紹介」の割合が高く、年代が下がるにつれ、「学校・大学」、「合コン、飲み会」が最も高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	職場・バイト先	家族・知人の紹介	学校・大学	趣味を共有する場	合コン、飲み会	マッチングアプリ	婚活イベント	S N S インターネット、	その他	無回答
18～19歳	42	71.4	28.6	54.8	38.1	40.5	21.4	16.7	21.4	2.4	2.4
20～24歳	112	62.5	42.9	58.0	45.5	34.8	26.8	16.1	23.2	0.9	6.3
25～29歳	146	47.3	47.9	35.6	36.3	32.2	34.2	21.9	22.6	-	1.4
30～34歳	183	57.4	47.0	35.0	31.1	27.9	26.8	21.9	18.6	3.8	2.7
35～39歳	237	61.6	46.0	33.3	35.0	27.8	21.5	18.1	14.3	1.7	2.1

※着色した数値は、各行の最大値

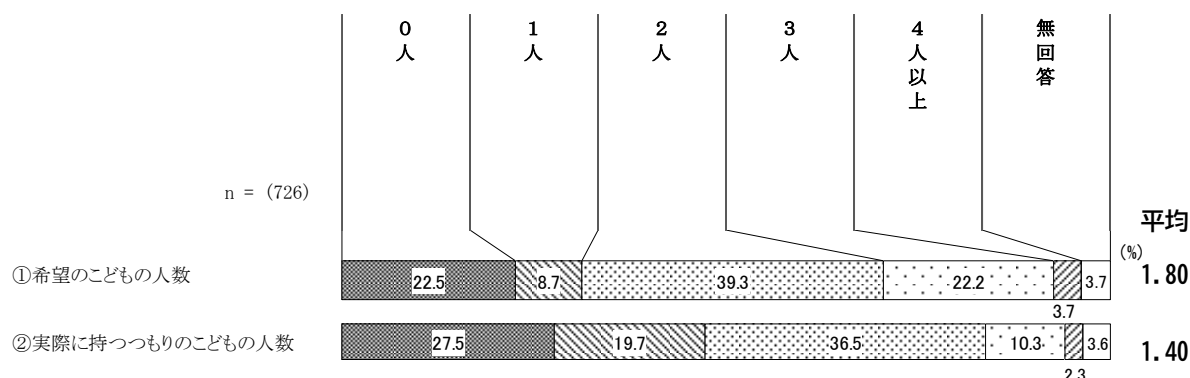
4 子育てに対する考え方について

（１）こどもを持つことについて

18～39 歳

▶こどもを持つことについては、希望・実際ともに「2人」が最も高くなっている。平均をみると、希望は1.80人、実際は1.40人となっており、ギャップが見られる状況となっている。

問 29 あなたにとって「①希望のこどもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。※お子さんがおられる方は、②実際に持つつもりの子どもの人数に現在のお子さんの数も含めて人数を記入してください。※お子さんを持つつもりがない方は、①②に0人と記入してください。（数字でご記入ください。）



（２）どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいか

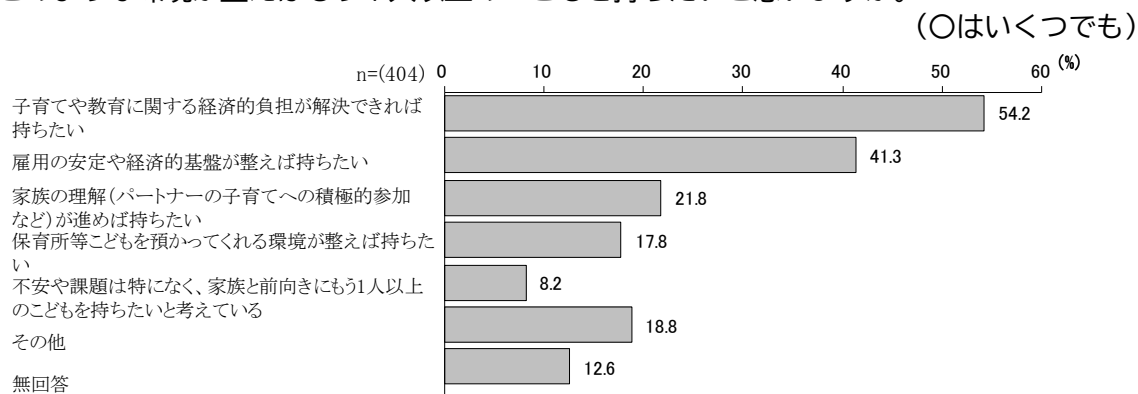
18～39 歳

▶どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいと思うかについては、「子育てや教育に関する経済的負担が解決できれば持ちたい」が54.2%と最も高く、次いで「雇用の安定や経済的基盤が整えば持ちたい」（41.3%）、「家族の理解（パートナーの子育てへの積極的参加など）が進めば持ちたい」（21.8%）となっている。

【問 29 で、①と②ともに「0人」と回答した方や、問 29 で、②実際に持つつもりの子どもの数より、①希望のこども数が多い方のみ、お答えください。】

※例：②実際に持つつもりの子どもの数が2人、①希望のこども数が3人 など

問 30 どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいと思いますか。（○はいくつでも）

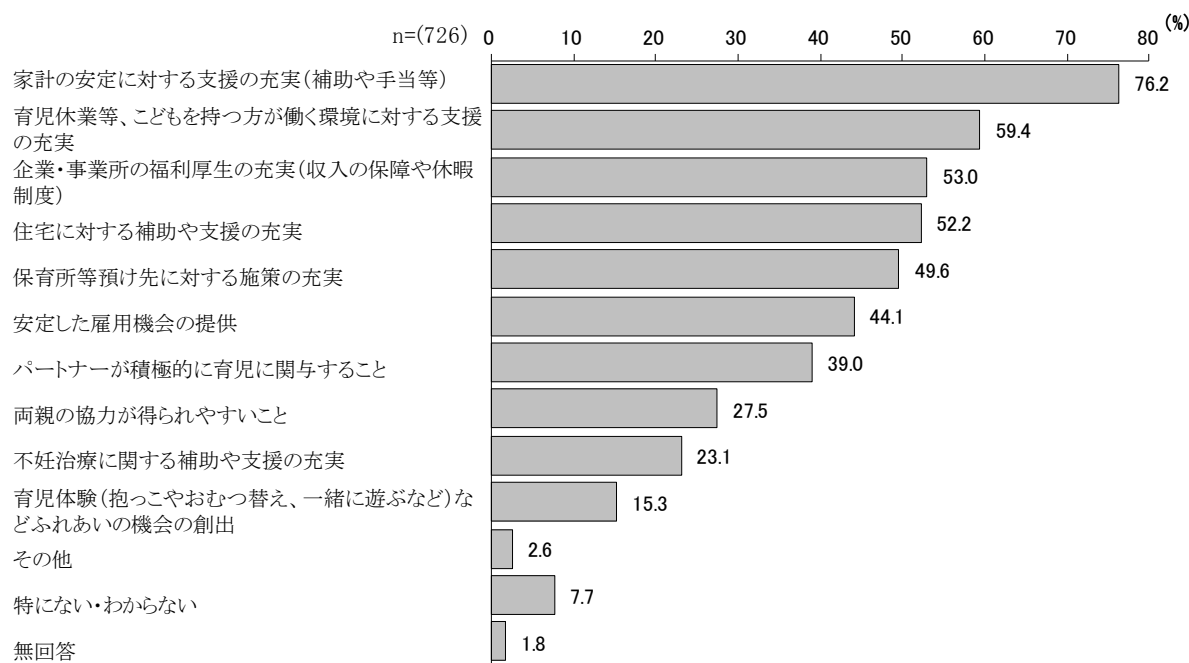


（３）こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策

18～39 歳

▶こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策について、「家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）」が76.2%と最も高く、次いで「育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実」（59.4%）、「企業・事業所の福利厚生充実（収入の保障や休暇制度）」（53.0%）となっている。

問 31 こどもを持つことや子育てに対して前向きになれると思う要素や行政に求める支援施策は何ですか。（〇はいくつでも）



【性別／こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策】

▶こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策について、18～39 歳を性別でみると、「女性」は「男性」に比べ、「育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実」と「パートナーが積極的に育児に関与すること」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）	育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実	企業・事業所の福利厚生（収入の保障や休暇制度）	住宅に対する補助や支援の充実	保育所等預け先に対する施策の充実	安定した雇用機会の提供	パートナーが積極的に育児に関与すること	両親の協力が得られやすいこと	不妊治療に関する補助や支援の充実	育児体験（抱っこやおむつ替え、一緒に遊ぶなど）などふれあいの機会の創出	その他	特にない・わからない	無回答
男性	290	77.2	51.7	50.7	56.9	46.9	40.3	23.8	26.6	21.4	15.9	2.8	7.9	2.4
女性	416	76.2	64.4	54.8	48.8	51.0	46.4	48.6	28.1	24.3	14.4	2.2	7.5	1.0
その他	16	68.8	75.0	56.3	62.5	68.8	62.5	75.0	37.5	31.3	31.3	12.5	6.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策】

▶こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策について、18～39 歳を年代別でみると、すべての年代で「家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「企業・事業所の福利厚生（収入の保障や休暇制度）」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「住宅に対する補助や支援の充実」と「パートナーが積極的に育児に関与すること」の割合が概ね高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）	育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実	企業・事業所の福利厚生（収入の保障や休暇制度）	住宅に対する補助や支援の充実	保育所等預け先に対する施策の充実	安定した雇用機会の提供	パートナーが積極的に育児に関与すること	両親の協力が得られやすいこと	不妊治療に関する補助や支援の充実	育児体験（抱っこやおむつ替え、一緒に遊ぶなど）などふれあいの機会の創出	その他	特にない・わからない	無回答
18～19歳	42	78.6	59.5	42.9	59.5	52.4	50.0	54.8	28.6	23.8	16.7	-	14.3	-
20～24歳	112	71.4	58.9	51.8	48.2	53.6	50.9	42.0	31.3	19.6	14.3	1.8	6.3	1.8
25～29歳	146	82.9	59.6	55.5	60.3	53.4	37.7	42.5	27.4	21.9	21.2	-	6.8	0.7
30～34歳	183	75.4	63.4	53.0	51.9	49.2	45.4	38.3	26.2	24.0	18.6	3.3	6.6	1.6
35～39歳	237	75.5	57.4	54.9	49.4	46.4	43.5	34.2	27.4	25.3	9.7	4.6	8.4	1.7

※着色した数値は、各行の最大値

5 八戸市やこどもまんなか社会について

（１）八戸市に今後も住み続けたいか

10～17 歳

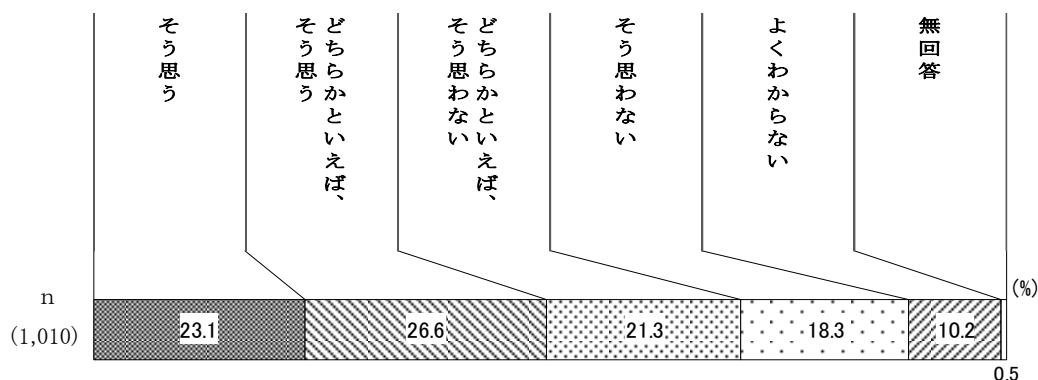
18～39 歳

▶八戸市に今後も住み続けたいかについては、10～17 歳では、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 49.7%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 39.6%となっている。

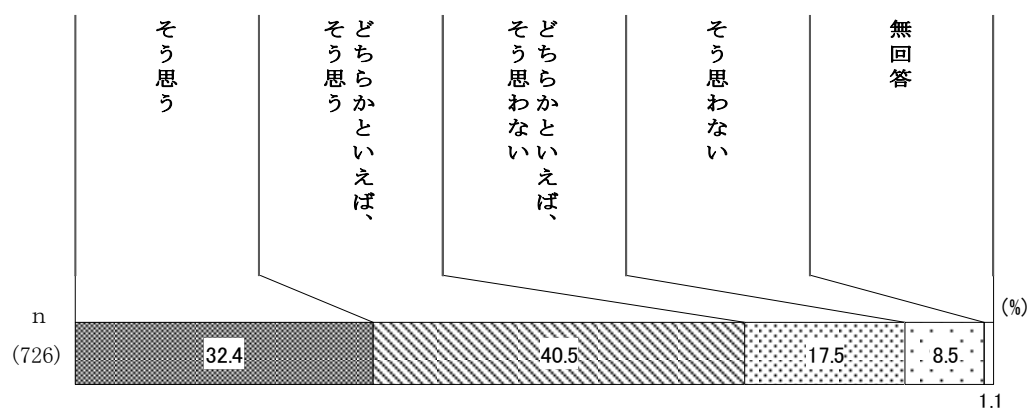
▶18～39 歳では、《そう思う》が、72.9%、《そう思わない》が、26.0%となっている。

問 32（問 18）あなたは八戸市に今後も住みたいと思いますか。または、一時期市外に転出してても将来的に八戸市に住みたいと思いますか。（○は1つ）

10～17 歳



18～39 歳



【年代別／八戸市に今後も住みたいか】

▶八戸市に今後も住みたいかについて、10～17 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“10～12 歳”で 62.1%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で 49.2%となっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう 思う か と い え ば、	そ ど ち ら か と い え ば、	そ う 思 わ な い	よ く わ か ら な い	無 回 答
10～12歳	301	36.5	25.6	17.6	8.0	11.6	0.7
13～15歳	386	17.1	28.2	21.0	21.2	11.9	0.5
16～17歳	319	17.6	26.0	25.1	24.1	6.9	0.3

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／八戸市に今後も住みたいか】

▶八戸市に今後も住みたいかについて、18～39 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“35～39 歳”で 78.1%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“18～19 歳”で 42.9%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう 思う か と い え ば、	そ ど ち ら か と い え ば、	そ う 思 わ な い	無 回 答
18～19歳	42	31.0	26.2	31.0	11.9	-
20～24歳	112	33.9	35.7	20.5	8.9	0.9
25～29歳	146	34.9	41.8	15.8	7.5	-
30～34歳	183	27.9	41.5	20.8	7.7	2.2
35～39歳	237	34.2	43.9	12.7	9.3	-

※着色した数値は、各行の最大値

（２）八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ

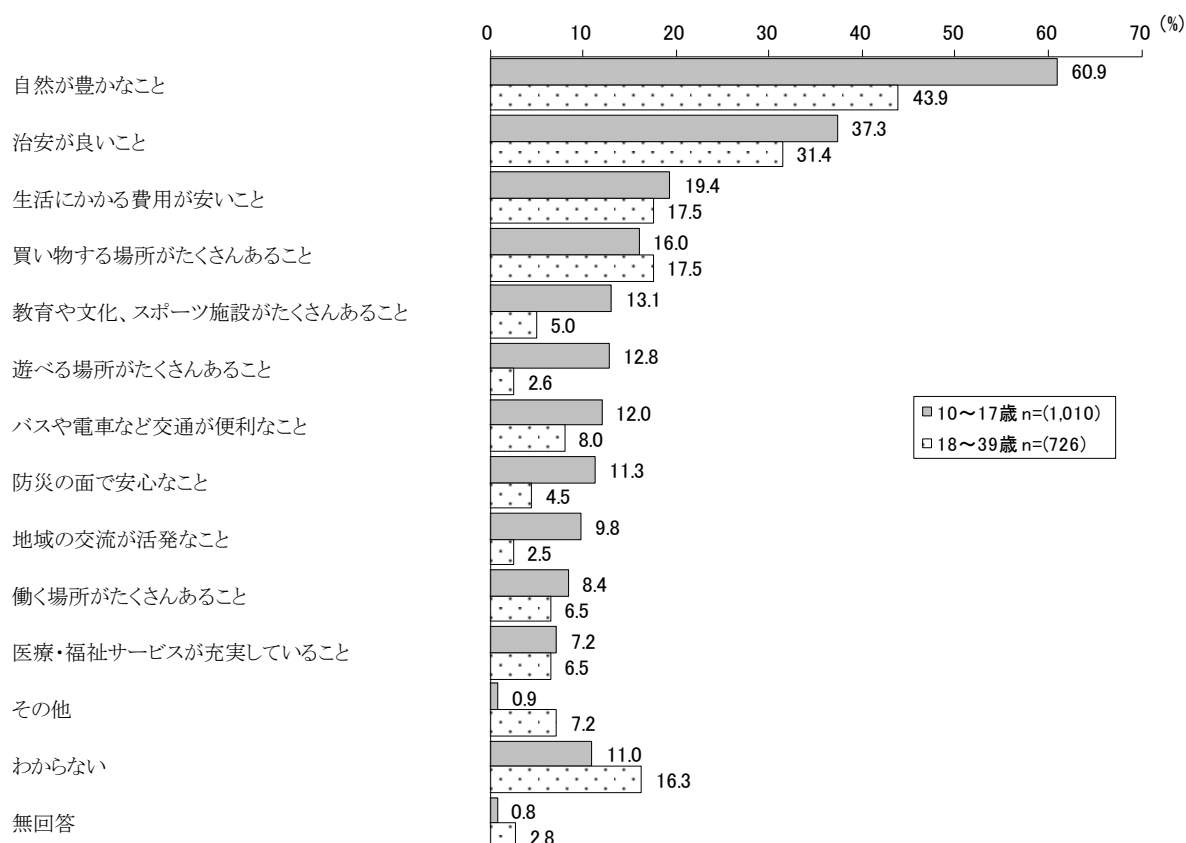
10～17 歳

18～39 歳

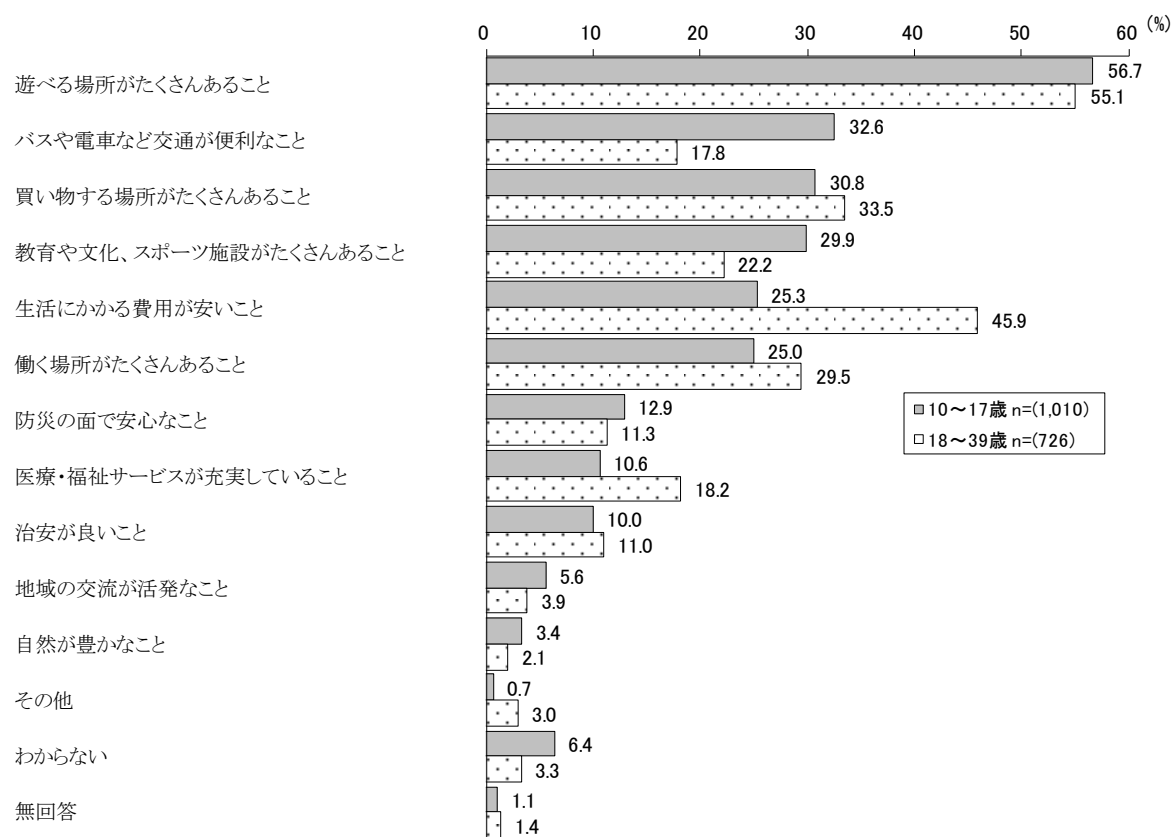
- ▶ 八戸市の良いと思うところについて、10～17 歳では、「自然が豊かなこと」が 60.9%と最も高く、次いで「治安が良いこと」（37.3%）、「生活にかかる費用が安いこと」（19.4%）となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「自然が豊かなこと」が 43.9%と最も高く、次いで「治安が良いこと」（31.4%）、「生活にかかる費用が安いこと」「買い物する場所がたくさんあること」（ともに 17.5%）となっている。
- ▶ 八戸市に力を入れてほしいところについては、10～17 歳では、「遊べる場所がたくさんあること」が 56.7%と最も高く、次いで「バスや電車など交通が便利なこと」（32.6%）、「買い物する場所がたくさんあること」（30.8%）となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「遊べる場所がたくさんあること」が 55.1%と最も高く、次いで「生活にかかる費用が安いこと」（45.9%）、「買い物する場所がたくさんあること」（33.5%）となっている。

問 33（問 19）八戸市の①良いと思うところ ②力を入れてほしいところはなんですか。
（それぞれ〇は3つまで）

①良いと思うところ



②力を入れてほしいところ



【年代別／八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ ①良いと思うところ】

▶“①良いと思うところ”について、10～17 歳を年代別でみると、すべての年代で「自然が豊かなこと」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「生活にかかる費用が安いこと」と「治安が良いこと」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「買い物する場所がたくさんあること」、「教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること」、「遊べる場所がたくさんあること」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	自然が豊かなこと	治安が良いこと	生活にかかる費用が安いこと	買い物する場所がたくさんあること	教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること	遊べる場所がたくさんあること	バスや電車など交通が便利なこと	防災の面で安心なこと	地域の交流が活発なこと	働く場所がたくさんあること	医療・福祉サービスが充実していること	その他	わからない	無回答
10～12歳	301	64.1	29.6	14.0	26.9	19.9	21.9	11.6	14.3	10.6	8.6	7.3	—	10.0	1.0
13～15歳	386	63.2	40.7	14.8	13.7	12.4	11.9	14.0	10.4	9.8	7.5	6.2	2.1	11.4	1.0
16～17歳	319	54.9	40.4	30.4	8.8	7.5	5.0	9.7	9.4	9.1	9.1	8.2	0.3	11.6	0.3

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ ②力を入れてほしいところ】

▶“②力を入れてほしいところ”について、10～17 歳を年代別でみると、すべての年代で「遊べる場所がたくさんあること」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「買い物する場所がたくさんあること」、「遊べる場所がたくさんあること」、「バスや電車など交通が便利なこと」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「生活にかかる費用が安いこと」と「防災の面で安心なこと」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	遊べる場所がたくさんあること	バスや電車など交通が便利なこと	買い物する場所がたくさんあること	教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること	生活にかかる費用が安いこと	働く場所がたくさんあること	防災の面で安心なこと	医療・福祉サービスが充実していること	治安が良いこと	地域の交流が活発なこと	自然が豊かなこと	その他	わからない	無回答
10～12歳	301	45.8	20.9	23.3	28.9	31.9	27.6	21.6	10.6	10.6	7.3	4.0	0.7	8.3	1.7
13～15歳	386	56.7	30.1	33.2	27.5	27.2	24.4	9.1	10.1	8.0	4.9	2.8	1.0	8.5	0.8
16～17歳	319	66.8	46.7	34.8	33.2	17.2	23.5	9.4	11.0	11.9	5.0	3.4	0.3	2.2	0.9

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ ①良いと思うところ】

▶“①良いと思うところ”について、18～39 歳を年代別でみると、すべての年代で「自然が豊かなこと」が最も高くなっている。また、年代が下がるにつれ、「生活にかかる費用が安いこと」と「自然が豊かなこと」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	自然が豊かなこと	治安が良いこと	生活にかかる費用が安いこと	買い物する場所がたくさんあること	教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること	遊べる場所がたくさんあること	バスや電車など交通が便利なこと	防災の面で安心なこと	地域の交流が活発なこと	働く場所がたくさんあること	医療・福祉サービスが充実していること	その他	わからない	無回答
18～19歳	42	52.4	31.0	33.3	16.7	9.5	2.4	7.1	9.5	7.1	7.1	4.8	-	4.8	2.4
20～24歳	112	50.9	25.9	19.6	17.9	7.1	3.6	9.8	6.3	1.8	8.9	3.6	8.0	13.4	1.8
25～29歳	146	48.6	24.7	20.5	16.4	4.1	2.1	5.5	4.8	3.4	4.1	2.1	4.1	17.8	3.4
30～34歳	183	42.6	35.5	17.5	17.5	3.8	1.6	7.7	3.3	1.6	6.6	7.7	8.7	16.4	1.6
35～39歳	237	38.4	35.9	12.2	18.6	4.6	3.4	8.9	3.8	2.1	6.3	10.1	8.9	18.1	2.5

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ ②力を入れてほしいところ】

▶“②力を入れてほしいところ”について、18～39 歳を年代別でみると、すべての年代で「遊べる場所がたくさんあること」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「生活にかかる費用が安いこと」と「医療・福祉サービスが充実していること」の割合が高くなっている。一方、年代が下がるにつれ、「バスや電車など交通が便利なこと」の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	遊べる場所がたくさんあること	バスや電車など交通が便利なこと	買い物する場所がたくさんあること	教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること	生活にかかる費用が安いこと	働く場所がたくさんあること	防災の面で安心なこと	医療・福祉サービスが充実していること	治安が良いこと	地域の交流が活発なこと	自然が豊かなこと	その他	わからない	無回答
18～19歳	42	61.9	28.6	35.7	23.8	33.3	28.6	11.9	7.1	4.8	7.1	-	2.4	2.4	4.8
20～24歳	112	58.9	23.2	33.0	20.5	38.4	30.4	8.9	11.6	13.4	8.9	1.8	1.8	2.7	0.9
25～29歳	146	54.8	13.0	37.0	21.2	45.9	30.1	13.7	21.2	10.3	2.1	0.7	2.7	4.1	2.1
30～34歳	183	55.7	15.3	33.3	18.6	48.6	27.3	14.8	20.2	13.1	2.7	2.2	1.6	3.8	1.1
35～39歳	237	53.2	18.1	32.1	26.6	49.8	30.4	8.0	20.3	10.1	3.0	3.4	5.1	2.5	-

※着色した数値は、各行の最大値

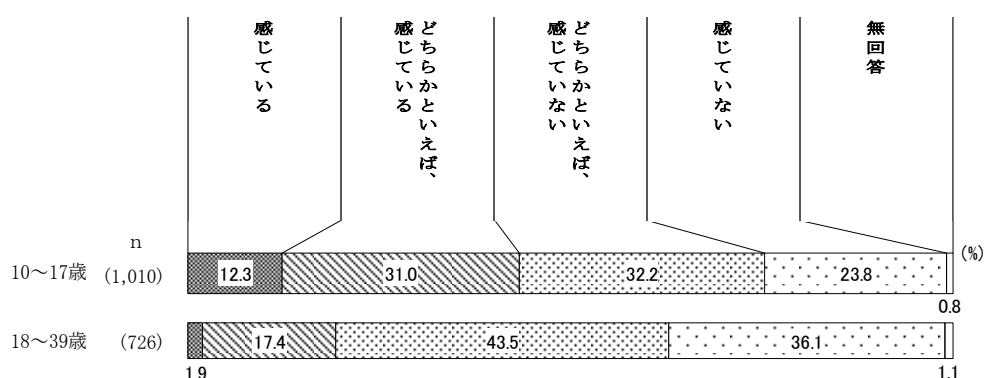
（３）遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているかについて、10～17 歳では、《感じる》（「感じる」+「どちらかといえば、感じる」）が 43.3%、《感じていない》（「感じていない」+「どちらかといえば、感じていない」）が 56.0%となっている。
- ▶18～39 歳では、《感じる》が 19.3%、《感じていない》が 79.6%となっている。

問 34（問 20）あなたは地域の中で、こどもや若者の遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じていますか。（○は1つ）



【年代別／遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているか】

- ▶遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているかについて、10～17 歳を年代別でみると、《感じる》（「感じる」+「どちらかといえば、感じる」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“10～12 歳”で 60.5%となっている。一方、《感じていない》（「感じていない」+「どちらかといえば、感じていない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で 70.2%となっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	感じる	どちらかといえば、感じる	どちらかといえば、感じていない	感じていない	無回答
10～12歳	301	19.6	40.9	23.9	15.6	-
13～15歳	386	11.7	30.3	32.9	24.1	1.0
16～17歳	319	6.0	22.6	39.2	31.0	1.3

※着色した数値は、各行の最大値

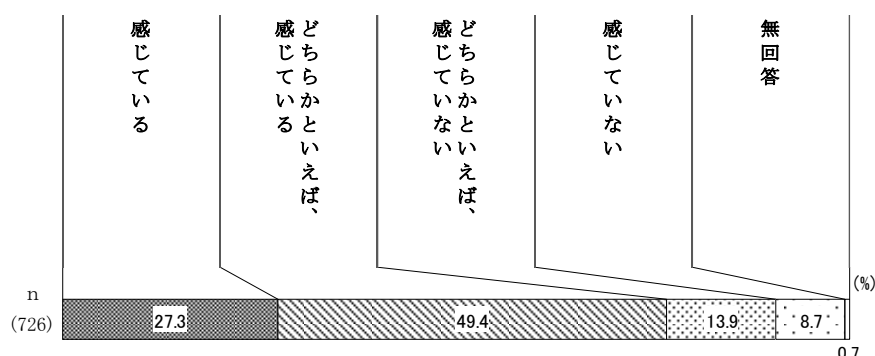
（４）八戸市に愛着や親しみを感じているか

18～39 歳

▶八戸市に愛着や親しみを感じているかについて、《感じる》（「感じる」+「どちらかといえば、感じる」）が 76.7%、《感じていない》（「感じていない」+「どちらかといえば、感じていない」）が 22.6%となっている。

問 35 あなたは八戸市に愛着や親しみを感じていますか。

（○は1つ）



【年代別／八戸市に愛着や親しみを感じているか】

▶八戸市に愛着や親しみを感じているかについて、18～39 歳を年代別でみると、《感じる》（「感じる」+「どちらかといえば、感じる」）の割合は年代が上がるにつれ概ね高くなる傾向があり、最も高いのは、“20～24 歳”で 80.3%となっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	感じる	どちらかといえば、感じる	どちらかといえば、感じていない	感じていない	無回答
18～19歳	42	28.6	47.6	16.7	7.1	-
20～24歳	112	33.0	47.3	10.7	8.9	-
25～29歳	146	24.0	54.8	13.0	8.2	-
30～34歳	183	24.6	49.7	16.4	8.2	1.1
35～39歳	237	28.7	47.3	13.9	9.7	0.4

※着色した数値は、各行の最大値

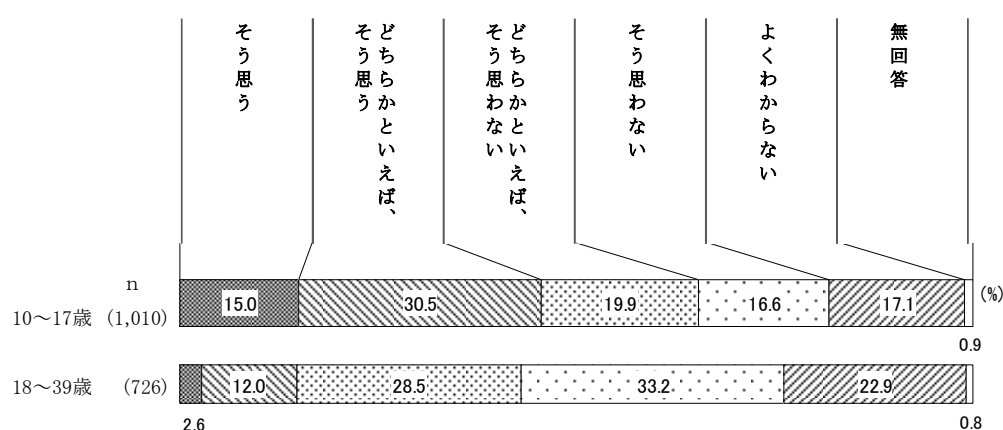
（５）自分の意見を聴いてもらえていると思うか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶自身の意見を聴いてもらえていると思うかについて、10～17 歳では、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 45.5%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 36.5%となっている。
- ▶18～39 歳では、《そう思う》が 14.6%、《そう思わない》が 61.7%となっている。

問 36（問 21）あなたは若者に関する取り組みについて、自身の意見が聴いてもらえていると思いますか。（○は1つ）



【性別／自分の意見が聴いてもらえていると思うか】

- ▶自分の意見が聴いてもらえていると思うかについて、10～17 歳を性別でみると、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合が、“男性”では 30.1%、“女性”では 42.5%となっており、“女性”の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう 思う か と い え ば、	そ ど ち ら か と い え ば、 そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	よ く わ か ら な い	無 回 答
男性	475	18.5	30.9	16.2	13.9	19.8	0.6
女性	511	12.1	30.5	23.5	19.0	14.1	0.8
その他	21	4.8	23.8	19.0	19.0	28.6	4.8

※着色した数値は、各行の最大値

【年代別／自分の意見が聴いてもらえていると思うか】

▶自分の意見が聴いてもらえていると思うかについて、10～17 歳を年代別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合は年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“10～12 歳”で 57.8%となっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、最も高いのは、“16～17 歳”で 49.8%となっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数 (件)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば、 そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば、 そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	よ く わ か ら な い	無 回 答
10～12歳	301	23.6	34.2	14.6	10.6	16.9	-
13～15歳	386	15.3	30.6	17.6	16.6	18.4	1.6
16～17歳	319	6.6	27.3	27.9	21.9	15.7	0.6

※着色した数値は、各行の最大値

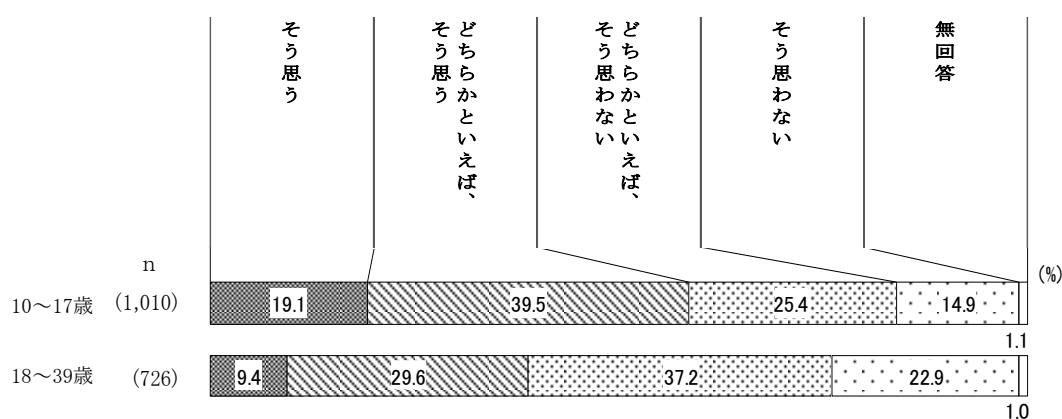
（６）市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うかについて、10～17 歳では、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 58.6%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 40.3%となっている。
- ▶18～39 歳では、《そう思う》が 39.0%、《そう思わない》が 60.1%となっている。

問 37（問 22）あなたは、市や学校、地域の取り組みに対して、自分の意見を言ったり、意思決定に参加したいと思いますか。（○は１つ）



【性別／市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うか】

▶市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うかについて、18～39歳を性別でみると、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）の割合が、“男性”では46.9%、“女性”では33.7%となっており、“男性”の割合が高くなっている。一方、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）の割合が、“男性”では51.4%、“女性”では66.1%となっており、“女性”の割合が高くなっている。

18～39 歳

単位：％

区分	調査数（件）	そう思う	そう 思う か と い え ば、	そ ど ち ら か と い え ば、	そ う 思 わ な い	無 回 答
男性	290	14.5	32.4	29.7	21.7	1.7
女性	416	5.8	27.9	42.8	23.3	0.2
その他	16	6.3	18.8	37.5	37.5	-

※着色した数値は、各行の最大値

（7）こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるとよいと思うか

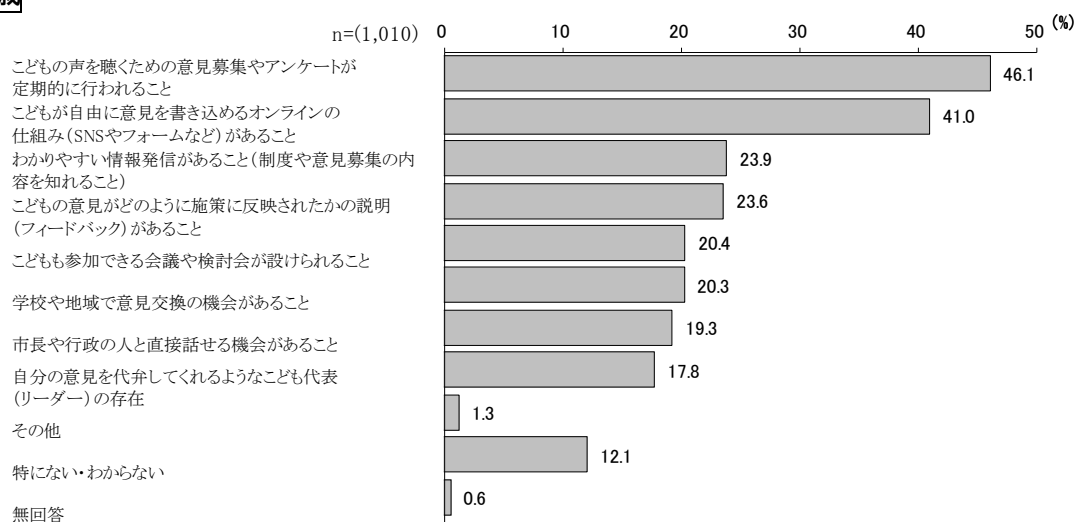
10～17 歳

18～39 歳

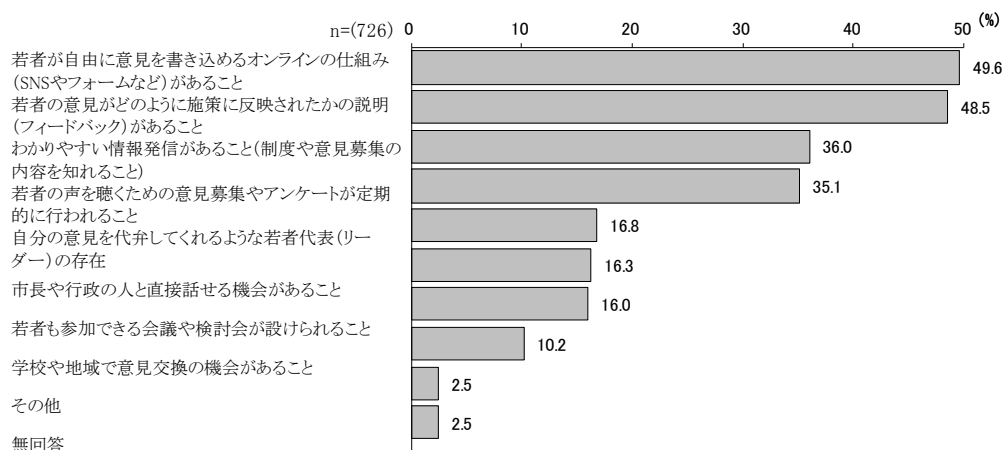
- ▶こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるとよいと思うかについて、10～17 歳では、「こどもの声を聴くための意見募集やアンケートが定期的に行われること」が 46.1%と最も高く、次いで「こどもが自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」（41.0%）、「わかりやすい情報発信があること（制度や意見募集の内容を知れること）」（23.9%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「若者が自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」が 49.6%と最も高く、次いで「若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること」（48.5%）、「わかりやすい情報発信があること（制度や意見募集の内容を知れること）」（36.0%）となっている。

問 38（問 23）こども・若者の意見が市の施策やまちづくりに反映されるためには、どのような取り組みがある
とよいと思いますか。（○は3つまで）

10～17 歳



18～39 歳



【年代別／こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、
どのような取り組みがあるとよいと思うか】

▶こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるとよいと思うかについて、10～17 歳を年代別でみると、「10～15 歳」は「こどもの声を聴くための意見募集やアンケートが定期的に行われること」、「16～17 歳」は「こどもが自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「こどもが自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」と「こどもの意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること」の割合が高くなっている。

10～17 歳

単位：％

区分	調査数（件）	こどもの声を聴くための意見募集やアンケートが定期的に行われること	こどもが自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること	こどもが自由に意見を書き込めること（制度や意見募集の内容を知ること）	わかりやすい情報発信があること（反映されたかの説明（フィードバック）があること	こどもも参加できる会議や検討会が設けられること	学校や地域で意見交換の機会があること	市長や行政の人と直接話せる機会があること	自分の意見を代弁してくれるようなこども代表（リーダー）の存在	その他	特にない・わからない	無回答
10～12歳	301	50.5	35.2	22.9	16.3	22.6	24.6	17.9	15.6	1.0	16.6	-
13～15歳	386	45.6	40.2	23.8	24.9	18.1	21.0	18.1	18.7	1.6	11.1	1.0
16～17歳	319	42.3	47.0	24.8	28.5	21.0	15.4	22.3	18.8	1.3	9.1	0.6

※着色した数値は、各行の最大値

▶こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるかと思うかについて、18～39 歳を年代別でみると、“18～34 歳”は「若者が自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」、「35～39 歳」は「若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること」が最も高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること」の割合が概ね高くなっている。

単位：％												
区分	調査数（件）	若者が自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNSやフォームなど）があること	若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること	若者の意見募集の内容を知れること（制度や意見募集の内容を知ること）	わかりやすい情報発信があること	若者の声を聴くための意見募集やアンケートが定期的に行われること	自分の意見を代弁してくれるような若者代表（リーダー）の存在	市長や行政の人と直接話せる機会があること	若者も参加できる会議や検討会が設けられること	学校や地域で意見交換の機会があること	その他	無回答
18～19歳	42	50.0	38.1	33.3	45.2	14.3	19.0	14.3	19.0	2.4	-	
20～24歳	112	52.7	43.8	33.0	37.5	14.3	15.2	15.2	14.3	3.6	1.8	
25～29歳	146	56.8	51.4	37.0	38.4	18.5	11.0	7.5	6.8	0.7	1.4	
30～34歳	183	50.3	48.6	36.1	33.9	16.4	14.2	20.2	7.1	2.2	3.3	
35～39歳	237	43.9	51.1	37.6	31.6	18.1	21.1	19.0	11.0	3.4	2.1	

（８）八戸市のこども・若者に対する支援についてのご意見・ご提案

10～17 歳

18～39 歳

問 39（問 24） 八戸市のこども・若者に対する支援についてのご意見・ご提案を、ご自由にお書きください。

10～17 歳

順位	内容	件数
1	公園・遊び場・商業施設に関すること	316 件
2	生活環境に関すること	125 件
3	交通・道路整備に関すること	69 件
4	学校に関すること	63 件
5	行政・施策に関すること	51 件
6	金銭面に関すること	28 件
7	就職・就労に関すること	16 件
8	他者との交流に関すること	15 件
9	情報発信に関すること	10 件
10	相談先に関すること	9 件
11	子育て支援に関すること	7 件
	合計	709 件

※回答者数：754 人（「特になし」などの回答は除く）

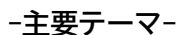
※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

18～39 歳

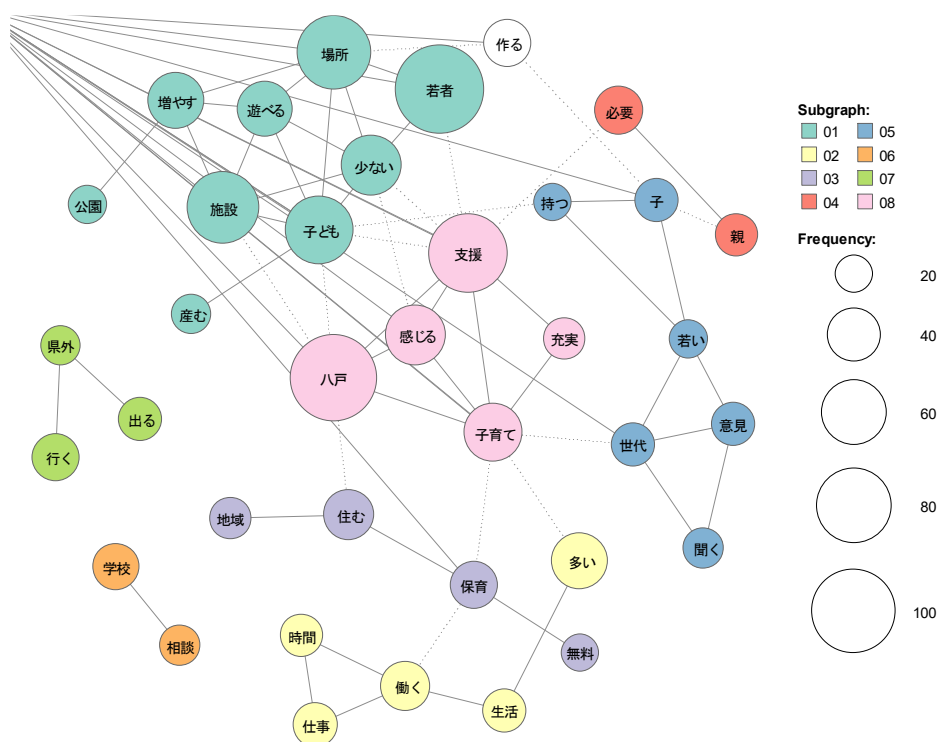
順位	内容	件数
1	公園・遊び場・商業施設に関すること	90 件
2	子育て支援に関すること	78 件
3	行政・施策に関すること	46 件
4	金銭面に関すること	39 件
5	就職・就労に関すること	37 件
6	学校に関すること	21 件
7	生活環境に関すること	18 件
8	交通・道路整備に関すること	17 件
9	他者との交流に関すること	10 件
10	相談先に関すること	9 件
11	結婚に関すること	9 件
12	情報発信に関すること	7 件
	合計	381 件

※回答者数：409 人（「特になし」などの回答は除く）

※1 人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している



18～39 歳



-主要テーマ-

①（青緑色系）遊ぶ場所や施設等の不足

青緑色のグループでは、「場所」「施設」「遊べる」「若者」「少ない」などが共起しており、こどもや若者が遊べる場所や施設の不足が意識されていることがわかる。

②（ピンク色系）子育て支援への関心や充実への期待

ピンク色のグループでは、「八戸」「子育て」「支援」「充実」といった語が共起しており、子育て支援への関心や、さらなる充実を望む意見が見られる。

③（青色系）若い世代の意見聴取

青色のグループでは、「意見」「聞く」「若い」「世代」といった語が共起しており、若い世代の声を聞くことに関する話題がみられ、若い世代の意見を受け止めたり、反映していくことの重要性が意識されている可能性が考えられる。

④（黄色・紫色系）生活や働き方等に関する意識

黄色・紫色のグループでは、「時間」「働く」「生活」「仕事」といった語が共起しており、働く時間や生活に関しての意見が挙げられていることが分かる。また、そこから「保育料」「無料」といった語もつながっており、働く世代が感じる経済的負担や、保育にかかる費用の軽減を求める意識がうかがえる。

Ⅲ 使用した調査票

1 こども・若者アンケート調査 10～17歳の方向け



はちのへし
八戸市

わかももの
こども・若者アンケート調査
(10歳～17歳の方向け)



■ ご回答にあたってのお願い

○ このアンケートは、封筒の宛て名のあなた自身がお答えください。
○ 答えたくない質問には無理に答えずに大丈夫です。
○ ご自身が、**無記名**（住所や姓の記入をしない）でご回答ください。次の2つのうちどちらか1つの方法で、**7月25日（金）**までにご回答をお願いします（回答にかかる時間は10分程度です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記URLより回答画面にアクセスし、
「**郵便番号（数字6ケタ）**」をご入力の上、画面の指示に従ってご回答ください。

URL <https://src2.webcas.net/form/pub/src1/hachinohe-kodomo>

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

▶ 黒が青のボールペンまたは鉛筆で記入ください。
▶ ご回答は、「○は1つ」「○はいくつでも」等のルールに従って、あてはまる項目の欄に○をつけてください（一部、数字等を記入いただく箇所もございます）。
▶ 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に自分の考えを書いてください。
▶ ご記入いただいたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、郵便ポストに出してください。

1 あなた自身のことやご家族についてうかがいます

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

1. 男	2. 女
3. その他（どちらともいえない・わからない・答えない）	

問2 あなたの年齢についてお答えください。
令和7年4月1日のときにあなたは何歳でしたか。（数字でご記入ください。）

歳

問3 状況 あなたがいつよに住んでいる方をお答えください。
※里親や児童福祉施設などで暮らしている方は、「6 その他」をお選びください。（○はいくつでも）

1. お父さん	2. お母さん	3. きょうだい	
4. おじいさん・おばあさん	5. その他親せき	6. その他（ ）	

2 あなたの気持ちや考え、生活についてうかがいます

問4 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。（それぞれ○は1つ）

	あてはまる	あてはまらない
ア) 今の自分が好きだ	1	2
イ) 自分は周りの人から好かれていると感じる	1	2
ウ) うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む	1	2
エ) 自分が必要とされていると感じる	1	2

問5 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。
（「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ）

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

- 1 -

問6 次の場所は、今のあなたは、どのくらいこの場所（ほっとできる場所、安心して暮らせる場所、安心して暮らせる場所）になっていますか。

	とても いい	いい	まあまあ いい	まあまあ 悪い	悪い	とても 悪い
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5	
イ) 家族（親せきの家を含む）	1	2	3	4	5	
ウ) 学校	1	2	3	4	5	
エ) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住 んでいる場所や建物など）	1	2	3	4	5	
オ) インターネット空間（SNS、YouTube やオン ラインゲームなど）	1	2	3	4	5	

問7 あなたは、どのような「居場所」があればいいと思いますか。（○は3つまで）

1. 一人で自由過ごす場所

2. 友だち、仲間と過ごす場所

3. 学校以外で同世代の人と出会う場所

4. ちがう世代の人と交流できる場所

5. 自主学習ができる場所

6. 勉強を教えてくれる人がいる場所

7. スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所

8. 仲間と共通の目標のために活動できる場所

9. 問題や悩みを相談できる場所

10. 新しい発見があるような場所

11. その他（ ）

12. わからない

13. 今のままで満足している

問8 次の父兄は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。（それぞれ○は1つ）

	とても いい	いい	まあまあ いい	まあまあ 悪い	悪い	とても 悪い
ア) 家族・親族	1	2	3	4		
イ) 学校で出会った友人 （現在通っている学校の友人、かつての同級生など）	1	2	3	4		
ウ) 地域の人 （近所の人、市内会などの友人、消防署などの地域活動での友人、 「あそび」などの地域活動に参加している団体など）	1	2	3	4		
エ) インターネット上における人やグループ （実際に会ったことがなかったり、または、何回か会ったことは あっても基本的にはインターネット中心での付き合いの人や グループなど）	1	2	3	4		

問9 次のことについて、あなたはどのくらい思いますか。（それぞれ○は1つ）

	とても いい	いい	まあまあ いい	まあまあ 悪い	悪い	とても 悪い
ア) 学校ですぐに友達ができる方だ	1	2	3	4		
イ) 社会のために役立つことをしたいと思う	1	2	3	4		

問10 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は1つ）

1. 希望がある

2. どちらかといえば、希望がある

3. どちらかといえば、希望がない

4. 希望がない

問11 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。（○は1つ）

1. あった（または、現在ある）→問12へ

2. なかった（ない）→問14へ

3. どちらかといえば、あった（ある）→問12へ

4. どちらかといえば、なかった（ない）→問14へ

5. わからない→問14へ

【問11で「1 あった（または、現在ある）」12 どちらかといえば、あった（ある）を選んだ方のみ、お答えください。】

問12 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらいますか。最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

1. あった	2. どちらかといえば、あった
3. どちらかといえば、なかった	4. なかった
5. わからない	

【問12で「1 あった」12 どちらかといえば、あった（ある）を選んだ方のみ、お答えください。】

問13 落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。（○はいくつでも）

1. 家族や親せきの助け	2. 友だちの助け
3. 学校の先生に相談したこと	4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと
5. 地域の人の助け	6. 病院に行って相談したこと
7. 相談できる場所に行って相談したこと	8. 電話相談を利用したこと
9. SNSやメール相談などを利用したこと	10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話を聞いたこと
11. 趣味の活動に参加したこと	12. 時間がたって状況が変化したこと
13. 引っ越しや転校、クラス替えなどがあって、まわりの環境が変わったこと	14. 自分の努力で乗り越えたこと
15. その他（ ）	16. わからない、答えない

【全員にお聞きします。】

問14 あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。（○はいくつでも）

1. 勉強	2. 家族
3. 友人や仲間との関係	4. 自分の外見や性格
5. 自分の将来	6. 健康
7. その他（ ）	8. 悩みや困りごとはない

問15 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。（○はいくつでも）

1. 家族や親せき	2. 学校の友だち
3. 近所の友だち	4. 児童や後輩
5. 学校の先生	6. 児童クラブの先生
7. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家	8. 地域の人の
9. 病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）	10. 同じように落ち込んだ経験をした人
11. その他（ ）	12. 誰にも相談したり、助けてもらったりしように思わない
13. わからない	

【問15で「12 誰にも相談したり、助けてもらったりしように思わない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問16 「誰にも相談したり、助けてもらったりしように思わない」と思う理由は何か。（○はいくつでも）

1. 相談しても解決できないと思うから	2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから	4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分が友達や失敗を隠く言われそうだから	6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから	8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから	10. 自分の気持ちを大切にしてみたら嫌だから
11. お金がかかると思うから	12. その他（ ）
13. 特に理由はない、わからない	

【全員にお聞きします。】

問17 あなたは、家族や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

3 八戸市やこどもまんなか社会についてうかがいます

問 18 あなたは大人になっても八戸市に住みたいと思いますか。または、一時八戸市外に転出してても将来的には八戸市に住みたいと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない
5. よくわからない	

問 19 八戸市の① 良いと思うところ ② 力を入れてほしいところはなんですか。(それぞれ〇は3つまで)

選択肢	① 良いと思うところ (3つまで)	② 力を入れてほしいところ (3つまで)
1. 働く場所がたくさんあること	1	1
2. 生活にかかる費用が安いこと	2	2
3. 自然が豊かなこと	3	3
4. 防災の面で安心なこと	4	4
5. 治安が良いこと	5	5
6. 買い物する場所がたくさんあること	6	6
7. 教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること	7	7
8. 遊べる場所がたくさんあること	8	8
9. 医療・福祉サービスが充実していること	9	9
10. バスや電車など交通が便利なこと	10	10
11. 地域の交流が活発なこと	11	11
12. その他	その他: ()	その他: ()
13. わからない	13	13

問 20 あなたは地域の甲で、こどもや若者の遊び・娯楽や体験活動の機会が十分にあってほしいと思いますか。(〇は1つ)

1. 感じている	2. どちらかといえば、感じている
3. どちらかといえば、感じていない	4. 感じていない

問 21 あなたはこどもに関する取り組みについて、自分の意見が聞いてもらえてほしいと思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない
5. よくわからない	

問 22 あなたは、市や学校、地域の取り組みに対して、自分の意見を言ったり、意見決定に参加したいと思いませんか。(〇は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない

問 23 こどもの意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるためには、どのような取り組みがあるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. こどもの声を聴くための意見募集やアンケートが定期的に実施されること
2. こどもも参加できる会議や検討会が設けられること
3. こどもが自由に意見を言えるオンラインの仕組み (SNS やフォームなど) があること
4. 学校や地域で意見交換の機会があること
5. こどもの意見がどのように施策に反映されたかの説明 (フィードバック) があること
6. 自分の意見を代弁してくれるようなことも代表 (リーダー) の存在
7. 市長や行政の人と直接話せる機会があること
8. わかりやすい情報発信があること (制度や意見募集の内容を知れること)
9. その他 ()
10. 知らない・わからない

[illegible]

アンケート調査にご協力いただきました、ありがとうございます。

2 こども・若者アンケート調査 18～39 歳の方向け

八戸市 こども・若者アンケート調査

(18 歳～39 歳の方向け)

■ ご回答にあたってのお願い

○ このアンケートは、封筒の宛て名のあなた自身がお答えください。
 ○ 答えたくない質問には無理に答えなくて大丈夫です。
 ○ ご自身が、**無記名**（住所や氏名の記入をしない）でご回答ください。次の 2 つのうちどちらか 1 つの方法で、**7 月 25 日（金）**までに回答をお願いします（所要時間は 15 分程度です）。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

右の二次元コードまたは下記 URL より回答画面にアクセスし、「整理番号（数字 6 ケタ）」をご入力の上、画面の指示に従ってご回答ください。

URL <https://src2.webcas.net/form/pub/src1/hachinohe-wakamono>

2 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答

黒か青のボールペンまたは鉛筆で記入ください。
 ご回答は、「○は 1 つ」「○はいくつでも」等の表記に従って、該当する番号に○をつけてください（一部、数字等をご記入いただく設問もございます）。
 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
 ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストにご投函ください。

1 あなた自身のことやご家族の状況についてうかがいます

問1 あなたの性別をお答えください。 (○は 1 つ)

1. 男性

2. 女性

3. その他（どちらともいえない・わからない・答えない）

問2 あなたの年齢をお答えください。
 ※令和 7 年 4 月 1 日現在の年齢をお答えください。（数字で記入ください）

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「その他」をお選びください (○はいくつでも)

1. 父

2. 母

3. きょうだい

4. 祖父母

5. 配偶者・パートナー

6. あなたの子

7. その他親族

8. その他（ ）

9. 同居している人はいない

問4 あなたの現在の仕事をお答えください。 (○は 1 つ)

1. 学生・生徒（予備校生などを含む）

2. パート・アルバイト

3. 派遣社員

4. 契約社員・嘱託

5. 正規の社員・職員・従業員

6. 会社などの役員

7. 自営業・自由業

8. 家族従業者・内職

9. 専業主婦・主夫

10. 家事手伝い

11. 無職（仕事を探している）

12. 無職（仕事を探していない）

13. その他（ ）

【問4で「11 無職（仕事を探している）」「12 無職（仕事を探していない）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問5 就労することに関して、あなたはどのような支援があれば利用してみたいと思いますか。 (○はいくつでも)

1. 不規則な生活を整えるための支援

2. 気軽に立ち寄れて同じような立場の人と交流できる場の提供

3. 就職に関する悩みや不安の相談

4. 個人の状態やペースに寄り添った、ある程度の期間をとおした相談支援

5. メンタルヘルスに関わる講座

6. キャリアカウンセリングや進路決定の情報提供

7. コミュニケーションやビジネスマナーの講座

8. 仕事を体験する機会の提供

9. 面接等の練習

10. 求人情報の紹介

11. その他（ ）

12. 特になし

- 1 -

調査実施者 八戸市 こども健康部 こども未来課

※本調査は、株式会社サバーイリサーチセンターに委託して実施しています。

アンケートに関するお問い合わせ先

こども・若者調査事務局（株式会社サバーイリサーチセンター東北事務所内）
 電話：0120-550-981 E-mail: hachinohe-kodomo@surece.co.jp
 お問い合わせ期間：令和 7 年 7 月 9 日（水）～7 月 25 日（金）
 土日祝日を除く 10 時～17 時 ※12 時～13 時を除く
 ※メールでのお問い合わせは期間内 24 時間いつでも受け付けています

2 あなたの日頃の意識と生活についてうかがいます

問6 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア) 自分には自分らしいというものがあと思う	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ) 将来よりも今の生活を楽にしたい	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ) 努力すれば希望する職業につくことができる	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エ) 今の自分が好きだ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ) 自分らしいを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ) 自分は周りの人から好かれていると感じる	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ク) 自分が必要とされていると感じる	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問7 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

(「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ)

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

問8 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イ) 家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ウ) 学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エ) 職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
オ) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
カ) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問9 あなたは、どのような「居場所」があればいいと思いますか。

(○は3つまで)

1. 一人で自由に過ごせる場所	2. 友だち、仲間と過ごせる場所	3. 学校・職場以外で同世代の人と出会う場所	4. ちがう世代の人と交流できる場所	5. 自主学習ができる場所	6. 勉強を教えてくれる人がいる場所	7. スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所	8. 仲間と共通の目標のため活動できる場所	9. 問題や悩みを相談できる場所	10. 新しい発見があるような場所	11. その他（ ）	12. わからない	13. 今のままで満足している
-----------------	------------------	------------------------	--------------------	---------------	--------------------	----------------------------	-----------------------	------------------	-------------------	------------	-----------	-----------------

問10 次の人達は、あなたが困ったときに助けくれると思いますか。

(それぞれ○は1つ)

	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う	そう思う
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ア) 家族・親族	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イ) 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ウ) 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エ) 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
オ) インターネット上における人やグループ（実際に会ったことがないが、または、何らかのつながりがある人、または、インターネット中心での付き合いのある人やグループなど）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

問11 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う	3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない
---------	------------------	--------------------	-----------

【問 14 で「1」今までに経験があった（または、現在ある）」「2」どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 16 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。 (○は1つ)

1. あった 2. どちらかといえば、あった
3. どちらかといえば、なかった→問 18へ 4. なかった→問 18へ
5. わからない→問 18へ

→【問 16 で「1」 あった」「2」どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 17 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。 (○はいくつでも)

1. 家族や親戚の助け
2. 友人の助け
3. 学校の先生に相談したこと
4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと
5. 地域の人の助け
6. 病院に行つて相談したこと
7. 相談できる場所に行つて相談したこと
8. 電話相談を利用したこと
9. SNS やメール相談などを利用したこと
10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと
11. 就職・転職したこと
12. 趣味の活動に参加したこと
13. 時間がたつて状況が変化したこと
14. 自分の努力で乗りこえたこと
15. その他 ()
16. わからない、答えられない

【全員にお聞きします。】

問 18 あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。 (○はいくつでも)

1. 仕事
2. 就職
3. 家計・金銭
4. 学業
5. 家庭・家族
6. 友人や仲間との関係
7. 恋愛・結婚
8. 自分の外見や性格
9. 自分の将来
10. 性
11. 健康
12. 地域や社会
13. その他 ()
14. 悩みや困りことはない

問 12 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。 (○は1つ)

1. 希望がある
2. どちらかといえば、希望がある
3. どちらかといえば、希望がない
4. 希望がない

問 13 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことにについてお答えください。 (○は1つ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのために時々外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどに外出する
7. 自宅からは出るが、家からは出ない
8. 自宅からほとんど出ない

問 14 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れない状況がありますか。 (○は1つ)

1. 今までに経験があった（または、現在ある） 2. どちらかといえば、あった（ある）
3. どちらかといえば、なかった（ない） 4. なかった（ない）
5. わからない、答えられない

【問 14 で「1」今までに経験があった（または、現在ある）」「2」どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 15 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。 (○はいくつでも)

1. 自分自身について
(人づき合いが苦手、精神的・身体的な弱気やケガ、妊娠、何事にも否定的、勉強が苦手、悩み不安が相談できない など)
2. 家庭・家族について
(家族内不和や離別、家庭内孤立、親（保護者）の過度な期待・放任・厳しいつけ・虐待・過干渉・甘やかし、親（保護者）への反発、家庭が貧しい、家庭が裕福、看護・介護（自分が担い手） など)
3. 学校について
(成績、授業についていけない、先生や友達との関係、校則、集団行動、いじめ、体罰やハラスメント、不登校、中退、受験、不本意な入学 など)
4. 仕事・職場について
(職場になじめない、上司や同僚との関係が悪い、就職、退職や解雇、仕事上でのミス、仕事の量や内容が自分の能力を超えている、仕事で自分に向いていない、いじめ・ハラスメント、働きたくない、自分の才能や特技を生かせない、本当に自分がやりたい仕事ではない など)
5. その他 ()
6. 特に理由はない
7. わからない

問 19 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだ時に、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある

2. 相手が同世代である

3. 相手が同性である

4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる

5. 電話で相談できる

6. SNS やメールなどで相談できる

7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる

8. 相談できる場所が自宅から近い

9. 相手が自宅に来てくれる

10. 無料で相談できる

11. 相手が公的な支援機関である

12. 相手が民間の支援団体（NPO など）である

13. 相手が医師である

14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である

15. その他（ ）

16. 誰にも相談したくない

【問 19 で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 20 相談したくないと思う理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 相談しても解決できないと思うから

2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから

3. 誰にも知られたくないことだから

4. 自分が変な人と思われるのではないかと不安だから

5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから

6. 相手がどんな人かわからないから

7. 何を聞かれるかわ不安に思うから

8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから

9. 相手にうまく伝えられないから

10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから

11. お金がかかると思うから

12. その他（ ）

13. 特に理由はない、わからない

【全員にお聞きします。】

問 21 あなたは、こども・若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。
知っている相談支援機関等をすべて選んでください。
(○はいくつでも)

1. はちまむ相談～妊娠・出産・子育ての相談～

2. 性と健康の相談センター

3. 不妊専門相談センター

4. 八戸市配偶者暴力相談支援センター

5. こども家庭センター（こども家庭相談室・すくすく親子健康課）

6. 八戸児童相談所

7. こども支援センター

8. 八戸市少年相談センター

9. 八戸市生活自立相談支援センター

10. その他（ ）

11. どれも知らない→問 23 へ

【問 21 で「11. ～「10」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 22 これらの機関を利用したことはありますか。
(○は1つ)

1. ある

2. ない

【全員にお聞きします。】

問 23 問 21 にある機関等について利用したいと思いますか。
(○は1つ)

1. 利用したいと思う

2. どちらかといえば、利用したいと思う

3. どちらかといえば、利用したいと思わない

4. 利用したいと思わない

3 結婚に対する考え方についてうかがいます

問 24 あなたは現在、結婚（事実婚含む）していますか。
(○は1つ)

1. 結婚している→問 27 へ

2. 結婚していない→問 25 へ

【問 24 で「2. 結婚していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 25 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えは、次のどちらですか。
(○は1つ)

1. いずれ結婚するつもり→問 27 へ

2. 一生結婚するつもりはない→問 26 へ

【問 25 で 12 一生結婚するつもりはない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 26 結婚するつもりがないのはなぜですか。 (○はいくつでも)

1. 結婚に向けて行動を起こすことが面倒だから
2. 結婚生活そのものが面倒または大変そうだから
3. 結婚しなくても別に困らないから
4. 結婚にメリットを感じないから
5. 一人の方が気楽だから
6. 自分に自信がないから
7. 人とコミュニケーションをとるのが苦手だから
8. 経済的に不安だから
9. 自分に時間を使いたいから
10. 仕事を優先したいから
11. 出合いの場がないから
12. その他 ()

【全員にお聞きします。】

問 27 あなたは、結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。 (○はいくつでも)

1. 好きな人と絆を深められ幸せそう
2. 心理面で安定した生活が送れる
3. 家族や子どもを持つことができる
4. 経済面で安定した生活が送れる
5. お金がかかりそう
6. 家事や子育て等の負担が増える
7. 社会的責任が重くなる
8. 親戚との付き合い等面倒が増える
9. その他 ()
10. 特にない・わからない

問 28 あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか。

※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけをお選びください。 (○はいくつでも)

1. 職場・バイト先
2. 家族・知人の紹介
3. 学校・大学
4. 趣味を共有する場
5. 合コン、飲み会
6. 婚活イベント
7. インターネット、SNS
8. マッチングアプリ
9. その他 ()

4 子育てに対する考え方についてうかがいます

問 29 あなたにとって「①希望のこどもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。

※お子さんがおられる方は、②実際に持つつもりのお子さんの数も含めて人数を記入してください。

※お子さんを持つつもりがない方は、①②に0人と記入してください。(数字でご記入ください。)

① 希望のこどもの人数	□ 人	② 実際に持つつもりの子どもの人数	□ 人
-------------	-----	-------------------	-----

【問 29 で、①と②ともに「0人」と回答した方や、問 29 で、②実際に持つつもりの子どもの数より、①希望のこどもの数が多い方のみ、お答えください。】※例：②実際に持つつもりの子どもの数が2人、①希望のこどもの数が3人 など

問 30 どのような環境を整えはもう1人以上のこどもを持ちたいと思いますか。 (○はいくつでも)

1. 不安や課題は特になく、家族と前向きにもう1人以上のこどもを持ちたいと考えている
2. 保育所等こどもを預かってくれる環境を整えれば持ちたい
3. 子育てや教育に関する経済的負担が解決できれば持ちたい
4. 家族の理解（パートナーの子育てへの積極的参加など）が進めば持ちたい
5. 雇用の安定や経済的基礎を整えれば持ちたい
6. その他 ()

【全員にお聞きします。】

問 31 こどもを持つことや子育てに対して前向きになれると思う要素や行政に求める支援施策は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 安定した雇用機会の提供
2. 家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）
3. 住宅に対する補助や支援の充実
4. 保育所等預け先に対する施策の充実
5. 育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実
6. 不妊治療に関する補助や支援の充実
7. パートナーが積極的に育児に関与すること
8. 企業・事業所の福利厚生への充実（収入の保障や休暇制度）
9. 両親の協力が得られやすいこと
10. 育児体験（抱っこやおむつ替え、一緒に遊ぶなど）などふれあいの機会の創出
11. その他 ()
12. 特にない・わからない

5 八戸市やこどもまんなか社会についてうかがいます

問 32 あなたは八戸市に今後も住みたいと思いますか。または、一時期市外に転出して将来的に八戸市に住みたいと思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問 33 八戸市の①良いと思うところ ②力を入れてほしいところはなんですか。

選択肢	①	②
	良いと思うところ (3つまで)	力を入れてほしいところ (3つまで)
1. 働く場所がたくさんあること	1	1
2. 生活にかかる費用が安いこと	2	2
3. 自然が豊かなこと	3	3
4. 防災の面で安心なこと	4	4
5. 治安が良いこと	5	5
6. 買い物する場所がたくさんあること	6	6
7. 教育や文化、スポーツ施設がたくさんあること	7	7
8. 遊ぶ場所がたくさんあること	8	8
9. 医療・福祉サービスが充実していること	9	9
10. バスや電車など交通が便利なこと	10	10
11. 地域の交流が活発なこと	11	11
12. その他	その他: ()	その他: ()
13. わからない	13	13

問 34 あなたは地域の中で、こどもや若者の遊び・娯楽や体験活動の機会が十分にあると感じていますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば、感じている |
| 3. どちらかといえば、感じていない | 4. 感じていない |

問 35 あなたは八戸市に愛着や親しみを感じていますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば、感じている |
| 3. どちらかといえば、感じていない | 4. 感じていない |

問 36 あなたは若者に関する取り組みについて、自身の意見が聴いてもらえていると思いますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえば、そう思わない | 4. そう思わない |
| 5. よくわからない | |

問 37 あなたは、市や学校、地域の取り組みに対して、自分の意見を言ったり、意思決定に参加したいと思えますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえば、そう思う |
| 3. どちらかといえば、そう思わない | 4. そう思わない |

問 38 若者の意見が市の施策やまちづくりに反映されるためには、どのような取り組みがあると思いますか。
(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 若者の声を聞くための意見募集やアンケートが定期的に行われること |
| 2. 若者も参加できる会議や検討会が設けられること |
| 3. 若者が自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み (SNS やフォームなど) があること |
| 4. 学校や地域で意見交換の機会があること |
| 5. 若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明 (フィードバック) があること |
| 6. 自分の意見を代弁してくれるような若者代表 (リーダー) の存在 |
| 7. 市長や行政の人と直接話せる機会があること |
| 8. わかりやすい情報発信があること (制度や意見募集の内容を知れること) |
| 9. その他 () |

問 39 八戸市のことも・若者に対する支援についてのご意見・ご提案を、ご自由にお書きください。

[illegible]

アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

郵送でご回答いただく場合、回答済みアンケートは切手を貼らずに同封の封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。

八戸市
こども・若者アンケート調査
令和7年9月

八戸市 こども健康部 こども未来課
〒031-8686 八戸市内丸一丁目1番1号
TEL : (0178)43-2167 FAX : (0178)43-2144
